

検 定 意 見 書

3 枚中 1 枚目

受理番号 102-214		学校 高等学校		教科 外国語		種目 英語コミュニケーション I		学年	
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準				
	ページ	行							
1	全巻	全体	図書の内容全体	学習指導要領に示す内容に照らして、扱いが不適切である。 (内容(1)のイ「句読法」)	2-(1)				
2	全巻	全体	図書の内容全体	学習指導要領に示す内容に照らして、扱いが不適切である。 (内容(1)のエ(イ)g「動詞の時制及び相など」(過去完了進行形))	2-(1)				
3	16	側注 3行	remarkableの発音表記 他：42ページ脚注1行decrease, 45ページ側注2行release, 98ページ脚注3行regarding, 106ページ側注14行remain,	表記が不統一である。 (164ページ1-2段目に照らして、母音表記が不統一)	3-(4)				
			120ページ脚注2行regret, 122ページ側注7行refer, 125ページ側注10行responsibility, 134ページ脚注1行receipt, 137ページ側注5行remove,						
			140ページ側注4行replace						
4	22	柱	Goal for “Focus on Language” 「本文に出てきた重要表現…について理解を深め、これらを適切に活用することができる。」 他：38, 54, 70, 86, 100, 116, 130,	相互に矛盾している。 (Exercises(全体)との対応)	3-(1)				
			146ページの同表現						
5	22	13 - 30	Exercises(全体) 他：38, 54, 70, 86, 100, 116, 130, 146ページのExercises(全体)	学習指導要領に示す「英語コミュニケーション I」の「内容」の(1)のエの「文構造及び文法事項」について、言語活動と効果的に関連付けて取り上げていない。	固有 1-(3)				
6	23		Focus on Five Skill Areas 他：55ページ	相互に矛盾している。 (ページの内容と相互に矛盾している。)	3-(1)				
7	29	14	Tupperware 他：側注13行, 175ページ第3欄26行	特定の商品の宣伝になるおそれがある。	2-(7)				

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

3 枚中 2 枚目

受理番号 102-214		学校 高等学校		教科 外国語		種目 英語コミュニケーション I		学年	
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準				
	ページ	行							
8	33	グラフ	農林中央金庫資料	不正確である。 (出典表示)	3-(1)				
9	42	グラフ	総務省資料 他：49ページの図，55ページのグラフ	不正確である。 (出典表示)	3-(1)				
10	60	側注 7行	unionの発音表記	不正確である。 (第2音節の母音表記)	3-(1)				
11	79	側注 15行	Fifiの発音表記	不正確である。 (長音符)	3-(1)				
12	95	グラフ	内閣府資料	不正確である。 (出典表示)	3-(1)				
13	98	脚注 1行	Unitedの発音表記	不正確である。 (第1音節の母音表記)	3-(1)				
14	107	側注S ound	「消化」の意味の名詞	誤りである。 (名詞digestの意味)	3-(1)				
15	108	グラフ	WWFジャパン資料 他：109ページのグラフ	不正確である。 (出典表示)	3-(1)				
16	122	側注 19行	Johnの発音表記	表記が不統一である。 (124ページ側注10行Robertの母音表記に照らして、 不統一)	3-(4)				
17	150	側注 11行	Jefferson Cityの発音表記 他：153ページ側注2行Ralph D. Spencer, 154ページ側注2行Little Rock	不正確である。 (強勢表記)	3-(1)				

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

3 枚中 3 枚目

受理番号 102-214		学校 高等学校	教科 外国語	種目 英語コミュニケーション I	学年
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準
	ページ	行			
18	164	右欄 4段目	少し重心の低さを感じさせる音です。	生徒にとって理解し難い表現である。 (発音の仕方について理解し難い。)	3-(3)
19	164	右欄 7段目	顔の断面図 他：167ページ左欄5段目	不正確である。 (発音の仕方)	3-(1)
20	164	右欄 9段目	唇を突き出し大きく丸めて	不正確である。 (発音の仕方)	3-(1)
21	165	右欄8 -10段 目	…の音に移行し、最後に舌を後ろに引きます。	不正確である。 (発音の仕方)	3-(1)
22	166	右欄 1-3段 目	息をためて一気に出します(3箇所)	不正確である。 (例に照らして、発音の仕方が不正確)	3-(1)
23	166	右欄 4段目	下唇を上歯に近付けて	不正確である。 (近付けて)	3-(1)
24	166	右欄 4-8段 目	息を出します(5箇所)	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (有声音でも息を出すと誤解するおそれ)	3-(3)

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

受理番号 102-215		学校 高等学校		教科 外国語		種目 英語コミュニケーション I		学年	
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準				
	ページ	行							
1	全巻	全体	図書の内容全体	学習指導要領に示す内容に照らして、扱いが不適切である。 (内容(1)のア(ウ)「文における区切り」)	2-(1)				
2	全巻	全体	図書の内容全体	学習指導要領に示す内容に照らして、扱いが不適切である。 (内容(1)のイ「句読法」)	2-(1)				
3	全巻	全体	図書の内容全体	学習指導要領に示す内容に照らして、扱いが不適切である。 (内容(1)のエ(イ)f「前置詞の用法」)	2-(1)				
4	全巻	全体	図書の内容全体	学習指導要領に示す内容に照らして、扱いが不適切である。 (内容(1)のエ(イ)g「動詞の時制及び相など」(過去完了進行形))	2-(1)				
5	9	1	Fill in the blanks with the words below. 他：全パートにある同表現	相互に矛盾している。 (Comprehension下「本文の内容を伝えよう」との対応)	3-(1)				
6	10	タイトル	SNSs 他：同ページ(8箇所)、11ページ(5箇所)、12ページ(7箇所)、13ページ(2箇所)、16ページ(4箇所)、18ページ(1箇所)、19ページ(1箇所)、156ページ(2箇所)、170ページ(3箇所)のSNS及びSNSs	英語の現代慣用によっていない。	固有 2-(1)				
7	12	10 - 11	Now, why don't you open up a huge new world in your small hands? 他：16ページ6行のour small hands	英語の現代慣用によっていない。 (your small hands)	固有 2-(1)				
8	16	1	Fill in the blanks with the words below. 他：各章末にある同表現	相互に矛盾している。 (Reproduction下「本文の内容を伝えよう」との対応)	3-(1)				
9	18	7 - 21	Exercises B C 他：32, 46, 60, 74, 92, 108, 124, 140ページのExercises B C	学習指導要領に示す「英語コミュニケーション I」の「内容」の(1)のエの「文構造及び文法事項」について、言語活動と効果的に関連付けて取り上げていない。	固有 1-(3)				

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

4 枚中 2 枚目

受理番号 102-215		学校 高等学校		教科 外国語		種目 英語コミュニケーション I		学年	
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準				
	ページ	行							
10	19		Focus on Five Skill Areas 他：33, 47, 61, 75ページ	相互に矛盾している。 (ページの内容と相互に矛盾している。)	3-(1)				
11	22	1 - 19	What did Kumi and Vivian say about chocolate? (全体)	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (オーストラリアではチョコレートドリンクを一般的に飲む習慣がないと誤解するおそれ)	3-(3)				
12	23	7	seafood bowl	誤りである。 (冠詞がない。)	3-(1)				
13	39	24	CHECK 3 My father (has been, is) on vacation for two weeks.	相互に矛盾している。 (指示文との対応)	3-(1)				
14	41	脚注1行	Sochiの発音表記	不正確である。 (第1音節の母音表記)	3-(1)				
15	52	脚注1行	respondの発音表記 他：100ページ脚注1行 require, 120ページ脚注1行 relieve, 130ページ脚注2行 remain, 144ページ脚注1行 release, 156ページ脚注2行	不正確である。 (第1音節の母音表記)	3-(1)				
			refreshing, 158ページ脚注1行 rely, 162ページ脚注1行 replace						
16	130	5 - 6	Their diameters are less than about five millimeters.	英語の現代慣用によっていない。 (diameterの使い方)	固有 2-(1)				
17	134	グラフ	WWF ジャパン資料 他：135ページグラフ	不正確である。 (出典表示)	3-(1)				
18	144	脚注3行	Jefferson Cityの発音表記 他：146ページ脚注2行 Ralph D. Spencer, 148ページ脚注1行 Little Rockの強勢表記	不正確である。 (強勢表記)	3-(1)				

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

4 枚中 3 枚目

受理番号 102-215		学校 高等学校	教科 外国語	種目 英語コミュニケーション I	学年
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準
	ページ	行			
19	145	Goals for	Part 1のストーリーの展開を的確に理解し、その内容を整理して伝えることができる。	生徒にとって理解し難い目標である。 (目標を達成する活動がない。)	3-(3)
20	145	下囲み	I really wish to keep playing as one of the starting players on our team.	英語の現代慣用によっていない。 (wish)	固有 2-(1)
21	158	1	swimming racer	英語の現代慣用によっていない。 (swimming racer)	固有 2-(1)
22	166	左欄7段目	顔の断面図 他：169ページ左欄5段目 顔の断面図	不正確である。 (発音の仕方)	3-(1)
23	167	右欄1段目	唇を突き出し大きく丸めて	不正確である。 (発音の仕方)	3-(1)
24	167	右欄9～11段目	…の音に移行し、最後に舌を後ろに引きます。	不正確である。 (発音の仕方)	3-(1)
25	168	右欄1-3段目	息をためて一気に出します。(3ヶ所)	不正確である。 (例に照らして、発音の仕方が不正確)	3-(1)
26	168	右欄4-8段目	息を出します。(5ヶ所)	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (有声音でも息を出すと誤解するおそれ)	3-(3)
27	168	右欄4段目	下唇を上歯に近付けて	不正確である。 (近付けて)	3-(1)
28	169	右欄7段目	舌尖を後方に向けながら	不正確である。 (後方に向けながら)	3-(1)

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

2 枚中 1 枚目

受理番号 102-216		学校 高等学校		教科 外国語		種目 英語コミュニケーション I		学年	
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準				
	ページ	行							
1	全巻	全体	図書の内容全体	学習指導要領に示す内容に照らして、扱いが不適切である。 (内容(1)のア(イ)「文におけるイントネーション」)	2-(1)				
2	全巻	全体	図書の内容全体	学習指導要領に示す内容に照らして、扱いが不適切である。 (内容(1)のイ「句読法」)	2-(1)				
3	全巻	全体	図書の内容全体	学習指導要領に示す内容に照らして、扱いが不適切である。 (内容(1)のエ(イ)d「接続詞の用法」)	2-(1)				
4	全巻	全体	図書の内容全体	学習指導要領に示す内容に照らして、扱いが不適切である。 (内容(1)のエ(イ)f「前置詞の用法」)	2-(1)				
5	全巻	全体	図書の内容全体	学習指導要領に示す内容に照らして、扱いが不適切である。 (内容(1)のエ(イ)g「動詞の時制及び相など」(過去完了進行形))	2-(1)				
6	15	上囲み6行	選択肢 a.	相互に矛盾している。 (正解と想定される文中の太字部分と相互に矛盾)	3-(1)				
7	17	15	Listen to ... again with the transcript... 他：33ページ17行，49ページ14行，69ページ16行，85ページ19行，101ページ15行，121ページ17行の同表現	生徒にとって理解し難い表現である。 (transcript)	3-(3)				
8	23	Practice	大問 ①, ② 他：39, 55, 75, 91, 107, 127ページの大問 ①, ②	学習指導要領に示す「英語コミュニケーション I」の「内容」の(1)のエの「文構造及び文法事項」について、言語活動と効果的に関連付けて取り上げていない。	固有1-(3)				
9	40	5	(n.) necessary	誤りである。 (品詞)	3-(1)				
10	41	右下囲み4行	If you do so,	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (do so)	3-(3)				

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

2 枚中 2 枚目

受理番号 102-216		学校 高等学校	教科 外国語	種目 英語コミュニケーション I	学年
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準
	ページ	行			
11	46	16 - 17	Recently, there is more and more man-made waste 他：50ページ5-7行 there are a lot of problems with the oceans recently. / 95ページ STEP 2 4行	英語の現代慣用によっていない。 (recentlyと共に用いられる時制)	固有 2-(1)
			Recently, there is more and more man-made waste		
12	50	側注 22行	accidentallyの発音表記	不正確である。 (第2音節の母音表記)	3-(1)
13	60	地図と グラフ	中央地図及び棒グラフ	学習上必要な出典，年次が示されていない。	2-(10)
14	92	下コラム 34行	1970年代から30年近く，都道府県別平均寿命で男女とも首位でした。	不正確である。 (30年)	3-(1)
15	122	側注3 3行	Czechoslovakiaの発音表記	不正確である。 (語末の母音表記)	3-(1)
16	133	側注 24行	demonstrator(s)の発音表記	誤りである。 (強勢表記)	3-(1)
17	142	Inf ormati	世界の平均寿命6行 スペイン (83.1歳)	不正確である。 (原典に照らして)	3-(1)

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

2 枚中 1 枚目

受理番号 102-217		学校 高等学校		教科 外国語		種目 英語コミュニケーション I		学年	
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準				
	ページ	行							
1	全巻	全体	図書の内容全体	学習指導要領に示す内容に照らして、扱いが不適切である。 (内容(1)のA(ウ)「文における区切り」)	2-(1)				
2	8 - 10	下段	Let's try! (全体)	学習指導要領に示す「英語コミュニケーション I」の「内容」の(1)のエの「文構造及び文法事項」について、言語活動と効果的に関連付けて取り上げていない。	固有 1-(3)				
3	11	子音② 2段	舌を丸めて犬が怒ったような音 他：母音⑤2段, 母音⑥1段の「舌を丸めて」	生徒にとって理解し難い表現である。 (発音の仕方)	3-(3)				
4	11	母音① 2段	見出しの発音表記 他：158ページ脚注3行logbook(s)の発音表記	表記が不統一である。 (18ページ側注4行progressと母音表記が不統一)	3-(4)				
5	17	下段	「Grammar」(全体) 他：各partにある「Grammar」(全体)及びp161-170「文法のまとめ」(全体)	学習指導要領に示す「英語コミュニケーション I」の「内容」の(1)のエの「文構造及び文法事項」について、言語活動と効果的に関連付けて取り上げていない。	固有 1-(3)				
6	22	12	movies and songs. 他：55ページThe Gist3-4行() and video game creators	表記が不統一である。 (16ページ7行「a real steam train, and more」に照らして、コンマの付け方が不統一)	3-(4)				
7	24	Language	大問① 他：36, 50, 62, 78, 92, 108, 122, 138, 152ページの大問①	学習指導要領に示す「英語コミュニケーション I」の「内容」の(1)のエの「文構造及び文法事項」について、言語活動と効果的に関連付けて取り上げていない。	固有 1-(3)				
8	57	Gist 囲み	lamplighter	誤りである。 (名詞の形)	3-(1)				
9	59	Think and	and humans can't. and AI can't.	英語の現代慣用によっていない。 (接続詞)	固有 2-(1)				
10	109	5	最後のgはよく消えます	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (gの発音について誤解するおそれ)	3-(3)				

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

2 枚中 1 枚目

受理番号 102-218		学校 高等学校		教科 外国語		種目 英語コミュニケーション I		学年	
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準				
	ページ	行							
1	全巻	全体	図書の内容全体	図書の内容と領域別の目標との関係が明示されていない。	固有 1-(1)				
2	全巻	全体	図書の内容全体	学習指導要領に示す内容に照らして、扱いが不適切である。 (内容(1)のイ「句読法」)	2-(1)				
3	全巻	全体	図書の内容全体	学習指導要領に示す内容に照らして、扱いが不適切である。 (内容(1)のエ(イ)a「不定詞の用法」(知覚動詞と共に用いる原形不定詞))	2-(1)				
4	全巻	全体	図書の内容全体	学習指導要領に示す内容に照らして、扱いが不適切である。 (内容(1)のエ(イ)g「動詞の時制及び相など」(過去完了進行形))	2-(1)				
5	2	脚注 2行	[]: 言い換え可能	相互に矛盾している。 (発音表記に使用されている記号との対応)	3-(1)				
6	10	側注 4行	uncookedの発音表記 他: 85ページ側注24行neighborhood	不正確である。 (母音表記)	3-(1)				
7	14	25	Without knowing what he meant, I followed his advice.	表記が不統一である。 (11ページ9行の段落と不統一)	3-(4)				
8	18		Grammar for Communication(全体) 他: 32, 48, 64, 82, 96, 112, 126, 144, 158ページのGrammar for Communication(全体)	学習指導要領に示す「英語コミュニケーション I」の「内容」の(1)のエの「文構造及び文法事項」について、言語活動と効果的に関連付けて取り上げていない。	固有 1-(3)				
9	25	Pic togram	3段左 Coin lockers	英語の現代慣用によっていない。 (Coin)	固有 2-(1)				
10	34	6	Absolutely!に付された赤丸 他: 12行Hang in there!	不正確である。 (強勢の位置)	3-(1)				

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

2 枚中 2 枚目

受理番号 102-218		学校 高等学校	教科 外国語	種目 英語コミュニケーション I	学年
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準
	ページ	行			
11	34	13 - 17	TASK 1(全体)	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (解答として想定される英語の表現とその発音について)	3-(3)
12	51	側注 24行	norの発音表記 他：73ページ側注21行roommate, 169 ページ側注23行congratulate	不正確である。 (発音表記)	3-(1)
13	56	5	SNS 他：61ページ9行	英語の現代慣用によっていない。 (SNS)	固有 2-(1)
14	80	Rec ap	大問2 PART3 “Prayer”	相互に矛盾している。 (74ページのタイトル「PRAYING」との対応)	3-(1)
15	115	9	non-white	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (non-white)	3-(3)
16	127	左中囲 み	verdict	英語の現代慣用によっていない。 (the judgeとともに用いるverdict)	固有 2-(1)

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

4 枚中 1 枚目

受理番号 102-220		学校 高等学校		教科 外国語		種目 英語コミュニケーション I		学年	
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準				
	ページ	行							
1	全巻	全体	図書の内容全体	学習指導要領に示す内容に照らして、扱いが不適切である。 (内容(1)のエ(i)d「接続詞の用法」)	2-(1)				
2	全巻	全体	図書の内容全体	学習指導要領に示す内容に照らして、扱いが不適切である。 (内容(1)のエ(i)g「動詞の時制及び相など」(過去完了進行形))	2-(1)				
3	12	脚注2行	Come over here,	誤りである。 (コンマ)	3-(1)				
4	14	脚注1行	curiousの発音表記 他：60ページ脚注3行 mysterious, 130ページ脚注2行 serious, 190ページ脚注5行 Bulgaria, 191ページ脚注3行 environment, 191ページ脚注6行	不正確である。 (母音表記)	3-(1)				
			seriously, 193ページ脚注4行 various						
5	23	7	Want to be famous?	英語の現代慣用によっていない。 (口語表現)	固有 2-(1)				
6	25	右写真	age 5	英語の現代慣用によっていない。	固有 2-(1)				
7	28	脚注2行	respectの発音表記 他：同 relationship, 44ページ脚注2行 refuse, 96ページ脚注1行 relate, 100ページ脚注1行 rely, replace, 112ページ脚注2行 remote, reply,	不正確である。 (第1音節の母音表記)	3-(1)				
			132ページ脚注1行 repair, 180ページ側注19行 responsibility, 181ページ側注30行 reserve, 192ページ脚注3行 release, 197ページ脚注5行 resolve, 199ページ脚注3行 respond						
8	35	Grammar	Exercises (下) 他：54ページ, 55ページ(2箇所), 70ページ, 71ページ(2箇所), 88ページ, 104ページ, 105ページ, 122ページ, 123ページ(2箇所), 139ページ(2箇所)	学習指導要領に示す「英語コミュニケーション I」の「内容」の(1)のエの「文構造及び文法事項」について、言語活動と効果的に関連付けて取り上げていない。	固有 1-(3)				

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検定意見書

4 枚中 2 枚目

受理番号 102-220		学校 高等学校		教科 外国語	種目 英語コミュニケーション I	学年
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準	
	ページ	行				
			, 157ページ(2箇所)			
9	39	3 - 5	子音で終わる語の後に母音で始まる語が続くと～傾向があります	生徒が誤解するおそれのある表現である。(母音だけではない。)	3-(3)	
10	43	下写真	STUSSY	特定の商品の宣伝になるおそれがある。	2-(7)	
11	44	8	The children are scared by the dragon. 他：55ページ24行	英語の現代慣用によっていない。(前置詞)	固有 2-(1)	
12	46	脚注2行	Ukraineの発音表記 他：48ページ脚注1行 Ukrainian, 192ページ脚注3行unique	表記が不統一である。(64ページ脚注1行uniqueとの対応)	3-(4)	
13	71	右下写真	本の表紙	特定の商品の宣伝になるおそれがある。(岩波文庫)	2-(7)	
14	77	表	Facts about Chimpanzees	学習上必要な年次が示されていない。	2-(10)	
15	96	6	SNS 他：側注2行, 脚注1行, 102ページ6行, 105ページ6行, 106ページ22行	英語の現代慣用によっていない。	固有 2-(1)	
16	109	24	take	表記が不統一である。(他のtの下線部との対応)	3-(4)	
17	129	右下写真	Martin Luther King 他：137ページ(2箇所)	不正確である。(人名)	3-(1)	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

4 枚中 3 枚目

受理番号 102-220		学校 高等学校	教科 外国語	種目 英語コミュニケーション I	学年
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準
	ページ	行			
18	130	脚注1行	O' Donnellの発音表記	不正確である。 (第2音節の母音表記)	3-(1)
19	143	11	go, to the movie	英語の現代慣用によっていない。	固有 2-(1)
20	143	23	You'reの発音表記	表記が不統一である。 (132ページ脚注1行repairとの対応)	3-(4)
21	146	脚注1行	Rapa Nuiの発音表記 他：脚注3行 Hakananai'a	不正確である。 (母音表記)	3-(1)
22	152	脚注2行	present-dayの発音表記	不正確である。 (第1音節の強勢表記)	3-(1)
23	173		Think, Talk & Writeのアイコン	相互に矛盾している。 (160ページGive It a Try!の目標との対応)	3-(1)
24	178	側注最下行	concerningの発音表記	表記が不統一である。 (側注11行handwritingとの対応)	3-(4)
25	179	側注3行	attitudeの発音表記 他：191ページ脚注2行, 191ページ脚注2行 gratitude, 193ページ脚注3行 costume, 195ページ脚注5行 substitute, 196ページ脚注3行 New	不正確である。 (発音表記)	3-(1)
			Orleans, 197ページ脚注5行 nuclear		
26	190	脚注2行	bowの発音表記	不正確である。	3-(1)

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

4 枚中 4 枚目

受理番号 102-220	学校 高等学校	教科 外国語	種目 英語コミュニケーション I	学年
--------------	---------	--------	------------------	----

番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準
	ページ	行			
27	192	最下行	oppressd	誤りである。 (スペリング)	3-(1)
28	198	脚注2行	Macronの発音表記 他：198ページ脚注4行 Branly, 198ページ脚注6行 Elysee	不正確である。	3-(1)
29	199	脚注4行	helpfulの発音表記	不正確である。	3-(1)
30	204	中欄	既習語数 2, 168語	不正確である。	3-(1)

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

2 枚中 1 枚目

受理番号 102-221		学校 高等学校		教科 外国語		種目 英語コミュニケーション I		学年	
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準				
	ページ	行							
1	全巻	全体	図書の内容全体	学習指導要領に示す内容に照らして、扱いが不適切である。 (内容(1)のイ「句読法」)	2-(1)				
2	全巻	全体	図書の内容全体	学習指導要領に示す内容に照らして、扱いが不適切である。 (内容(1)のエ(i)g「動詞の時制及び相など」(過去完了進行形))	2-(1)				
3	8 - 11		Starter(全体)	学習指導要領に示す「英語コミュニケーション I」の「内容」の(1)のエの「文構造及び文法事項」について、言語活動と効果的に関連付けて取り上げていない。	固有 1-(3)				
4	11	4	動詞句及びそれを示す線	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (動詞句の定義について誤解するおそれ)	3-(3)				
5	12	辞書囲み	noticeの発音表記	相互に矛盾している。 (60ページ側注8行notice(d)との対応)	3-(1)				
6	23	Practice	大問2, 3, 4(全体) 他: 35, 51, 63, 81, 95, 111, 125, 141ページの大問2, 3, 4(全体)	学習指導要領に示す「英語コミュニケーション I」の「内容」の(1)のエの「文構造及び文法事項」について、言語活動と効果的に関連付けて取り上げていない。	固有 1-(3)				
7	40	右欄 7段目	cute	相互に矛盾している。 (見出し発音表記との対応)	3-(1)				
8	51	18	Oh!That's	誤植である。 (スペースがない。)	3-(2)				
9	53	側注 9行	variousの発音表記 他: 65ページ側注3行series, 118ページ側注5行period, 側注9行 engineering, 143ページ側注3行Maryの発音表記	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (英音のみ表記)	3-(3)				
10	57	17	finished・・・the goal	英語の現代慣用によっていない。 (goalとともに用いる動詞)	固有 2-(1)				

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

2 枚中 2 枚目

受理番号 102-221		学校 高等学校		教科 外国語		種目 英語コミュニケーション I		学年	
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準				
	ページ	行							
11	71	図	「危機に瀕する言語」の図 他：101ページ「世界の強制移動者 2012-2018年」のグラフ	不正確である。 (出典表示)	3-(1)				
12	129	3	Do you like a summer festival?	英語の現代慣用によっていない。 (名詞の形)	固有 2-(1)				
13	129	TRY 2番	Which do you want to go on holidays, mountains or beaches?	誤りである。 (前置詞がない。)	3-(1)				
14	133	Hint Box ①	Ann of Green Gables	誤りである。 (作品名のスペリング)	3-(1)				
15	133	下囲み 1行	Basic Skills for writing 3	表記が不統一である。 (128ページでは、「Basic Skills for Writing 3」)	3-(4)				
16	143	中段写 真	本の表紙(2箇所)	特定の商品の宣伝になるおそれがある。 (#1 NEW YORK TIMES BESTSELLING SERIES)	2-(7)				
17	172	右下	既習語数 1,912語	不正確である。	3-(1)				

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

受理番号 102-222		学校 高等学校		教科 外国語	種目 英語コミュニケーション I	学年
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準	
	ページ	行				
1	全巻	全体	本図書に用いられている新語数	図書の中で用いられている英語の新語数は、学習指導要領に示す内容に照らして、扱いが不適切である。 (内容(1)のウ(7)に示す「400～600語程度の新語」)	2-(1)	
2	全巻	全体	図書の内容全体	学習指導要領に示す内容に照らして、扱いが不適切である。 (内容(1)のエ(4)g「動詞の時制及び相など」(過去完了形及び過去完了進行形))	2-(1)	
3	全巻	全体	図書の内容全体	学習指導要領に示す内容に照らして、扱いが不適切である。 (内容(1)のエ(4)a「不定詞の用法」(知覚動詞と共に用いる原形不定詞))	2-(1)	
4	6	右段	YOUR GOAL この課で学ぶ内容と表現です。課の終わりに、GOALを達成できたかどうか確認してみよう。(2箇所) 他：21, 25, 29ページ下段, 37, 47, 59, 69, 81, 91, 103ページ上段のYOUR GOAL	図書の内容と領域別の目標との関係が明示されていない。	固有 1-(1)	
5	6	下段	教科書に登場するマーク	生徒にとって理解し難い表現である。 (マークの説明が不足)	3-(3)	
6	16 - 19	ののちゃんの英文法	QUIZ (全体)	学習指導要領に示す「英語コミュニケーション I」の「内容」の(1)のエの「文構造及び文法事項」について、言語活動と効果的に関連付けて取り上げていない。	固有 1-(3)	
7	32 - 33	文法のまとめ	DRILL (全体) 他：56, 78, 100, 116ページのDRILL (全体)	学習指導要領に示す「英語コミュニケーション I」の「内容」の(1)のエの「文構造及び文法事項」について、言語活動と効果的に関連付けて取り上げていない。	固有 1-(3)	
8	50	側注 16行	experienceの発音表記 他：55ページ脚注1行environment, 99ページ脚注1行area, 115ページ側注2行mysteriousの発音表記	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (英音のみ表記)	3-(3)	
9	54	PRACTICE2	Do you have something to measure?	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (尋ねているものについて誤解するおそれ)	3-(3)	
10	67	2	マイクに絵はがきを出そう	相互に矛盾している。 (活動ではシンディーとなっている。)	3-(1)	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

2 枚中 2 枚目

受理番号 102-222	学校 高等学校	教科 外国語	種目 英語コミュニケーション I	学年
--------------	---------	--------	------------------	----

番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準
	ページ	行			
11	69	中段左 写真	将棋を指すロボットの写真	特定の動画配信サービスの宣伝になるおそれがある。 (niconico)	2-(7)
12	69	中段右 写真	翻訳機の写真 他：77ページ上段右	特定の商品の宣伝になるおそれがある。 (POCKETALK)	2-(7)
13	76	脚注 1行	cucumberの発音表記	不正確である。 (第2音節の母音表記)	3-(1)
14	83	CHE CK!②	told to Virginia	誤りである。 (to)	3-(1)

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

受理番号 102-224		学校 高等学校		教科 外国語	種目 英語コミュニケーション I	学年
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準	
	ページ	行				
1	全巻	全体	図書の内容全体	学習指導要領に示す内容に照らして、扱いが不適切である。 (内容(1)のア(イ)「文におけるイントネーション」)	2-(1)	
2	全巻	全体	図書の内容全体	学習指導要領に示す内容に照らして、扱いが不適切である。 (内容(1)のア(ウ)「文における区切り」)	2-(1)	
3	全巻	全体	図書の内容全体	学習指導要領に示す内容に照らして、扱いが不適切である。 (内容(1)のエ(イ)d「接続詞の用法」)	2-(1)	
4	全巻	全体	図書の内容全体	学習指導要領に示す内容に照らして、扱いが不適切である。 (内容(1)のエ(イ)g「動詞の時制及び相など」(過去完了進行形))	2-(1)	
5	5	右下囲み	n. = 名詞	誤植である。 (ピリオドの後にスペースがない。)	3-(2)	
6	5	右下囲み	話す活動のアイコン	図書の内容と「話すこと [やり取り]」, 「話すこと [発表]」の領域別の目標との関係が明示されていない。 (活動とアイコンとの対応)	固有 1-(1)	
7	6	見出し	Goal	英語の現代慣用によっていない。 (名詞の形)	固有 2-(1)	
8	8	下囲み	音声を聞いて、キーワードの意味を推測しましょう。 他：全てのKeywordsにある同表現	学習上の支障を生ずるおそれがある。 (音声を聞いて、意味を推測できないおそれ。)	2-(1)	
9	11	8	本文について、自分のことばで書いてみましょう。 他：全てのReview the Contentsにある同表現	生徒にとって理解し難い表現である。 (活動内容について説明不足)	3-(3)	
10	13	7	発信のアイコン 他：16, 28, 52, 68, 82, 96ページの発信のアイコン	相互に矛盾している。 (指示文とアイコンとの対応)	3-(1)	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

受理番号 102-224		学校 高等学校		教科 外国語	種目 英語コミュニケーション I	学年
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準	
	ページ	行				
11	16	6	本文の内容を自分のことばでまとめて書きましょう。 他：28, 40, 52, 68, 82, 96, 110, 126, 140ページの同表現	生徒にとって理解し難い表現である。 (活動内容について説明不足)	3-(3)	
12	16	下囲み	Your Turn! 他：28, 40, 68, 126ページのYour Turn!	相互に矛盾している。 (5ページのYour Turnの説明と活動内容との対応)	3-(1)	
13	17		Grammar for Communication (全体) 他：29ページ(全体), 41ページ大問1, 53, 69, 83, 97, 111, 127, 141ページの全体	学習指導要領に示す「英語コミュニケーション I」の「内容」の(1)のエの「文構造及び文法事項」について、言語活動と効果的に関連付けて取り上げていない。	固有 1-(3)	
14	17	5	staffs	誤りである。 (名詞の形)	3-(1)	
15	22	7 - 8	People can easily buy rare animals on the Internet.	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (インターネットで希少動物を購入できると誤解するおそれ)	3-(3)	
16	24	1	Humans began to keep dogs about 30,000 years ago.	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (人類が犬を飼い始めた年代)	3-(3)	
17	24	側注6行	eraの発音表記	不正確である。 (第1音節の母音表記)	3-(1)	
18	36	脚注	themは誰を指すか	誤りである。 (想定される解答と「誰」との対応)	3-(1)	
19	37	下囲み 4-5行	easy and efficient	不正確である。 (補語を示す下線)	3-(1)	
20	37	下囲み 6行	(1)の英文 他：47ページ下囲み9行 (3)の英文	生徒にとって理解し難い問題である。 (想定される回答がGrammar Pointと合わない。)	3-(3)	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

5 枚中 3 枚目

受理番号 102-224		学校 高等学校	教科 外国語	種目 英語コミュニケーション I	学年
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準
	ページ	行			
21	38	脚注1行	once-in-life-time	表記が不統一である。 (p.38 7行once-in-a-lifetimeとの対応)	3-(4)
22	39	中囲み1行	When and where did you get it.	誤りである。 (ピリオド)	3-(1)
23	43	右	1-7段目記号前のスペース (12箇所) 他：8-9段目 記号前後のスペース (10箇所) , 10段目 記号内側のスペース (2箇所)	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (スペースの使い方について誤解するおそれ)	3-(3)
24	47	中囲み1行	and share it	誤りである。 (代名詞)	3-(1)
25	48	側注8行	cultivationの発音表記	表記が不統一である。 (106ページ側注2行culturalとの対応)	3-(4)
26	55	11	dollar	誤りである。 (名詞の形)	3-(1)
27	60	脚注	non-sighted people 視覚障がい者	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (視覚障がい者を表す一般的な表現と誤解するおそれ)	3-(3)
28	65	下囲み6行	(1)The concert ticket	誤りである。 (ticketの形)	3-(1)
29	73	脚注1行	preferの発音表記 他：p115 脚注1行 digestion	不正確である。 (発音表記)	3-(1)
30	74	5	Its look	誤りである。 (代名詞)	3-(1)

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

5 枚中 4 枚目

受理番号 102-224		学校 高等学校	教科 外国語	種目 英語コミュニケーション I	学年
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準
	ページ	行			
31	76	グラフ	国連人口基金東京事務所ホームページ 他：87ページPETボトルリサイクル推進協議会	不正確である。 (出典表示)	3-(1)
32	78	棒グラフ	1頭当りの年間メタン排出量	学習上必要な年次が示されていない。	2-(10)
33	101	脚注1行	relievedの第2音節の発音表記	表記が不統一である。 (102ページ側注1行seriesとの対応)	3-(4)
34	112	1	あなたは書店で本を探しているあなたと店員の会話です。	生徒にとって理解し難い説明である。	3-(3)
35	113	4 - 5	Did you…? , Would you…? の発音表記	不正確である。 (強勢表記)	3-(1)
36	122	下囲み	Damages	誤りである。 (名詞の形)	3-(1)
37	126	2	a written records	誤りである。 (冠詞)	3-(1)
38	133	11	空欄の数	誤りである。 (選択肢の数との対応)	3-(1)
39	140	下囲み	Your Turn!の指示文	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (GretaさんになったつもりでSNSで発信すると誤解するおそれ)	3-(3)
40	160 - 166	全体	「文法のまとめ」(全体)	主たる記述と適切に関連付けて扱われていない。	2-(13)

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

5 枚中 5 枚目

受理番号 102-224		学校 高等学校		教科 外国語		種目 英語コミュニケーション I		学年	
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準				
	ページ	行							
41	160	見出し 右	LESSON 1 part 2 他：LESSON 1 part 3	誤りである。 (内容との対応)	3-(1)				
42	160 - 166	全体	「文法のまとめ」(全体)	生徒にとって理解し難い教材である。 (説明がなく、教材の活用方法が理解し難い。)	3-(3)				
43	162	7	to do this weekendの下線部分 他：同ページ10行、11行の下線部分	表記が不統一である。 (15行「a book on the bench」の下線部分との対応)	3-(4)				
44	裏見返	上囲み	any question	英語の現代慣用によっていない。 (名詞の形)	固有 2-(1)				
45	裏見返	下囲み	I don't know. I don't understand.	誤りである。 (日本語解説との対応)	3-(1)				

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

2 枚中 1 枚目

受理番号 102-225		学校 高等学校		教科 外国語		種目 英語コミュニケーション I		学年	
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準				
	ページ	行							
1	全巻	全体	図書の内容全体	学習指導要領に示す内容に照らして、扱いが不適切である。 (内容(1)のア(イ)「文におけるイントネーション」)	2-(1)				
2	全巻	全体	図書の内容全体	学習指導要領に示す内容に照らして、扱いが不適切である。 (内容(1)のイ「句読法」)	2-(1)				
3	4	10 - 11	聞く・読む、話す・書く、話す(やりとり)の3つの観点から、各レッスンの目標を提示しています。	生徒にとって理解し難い表現である。 (「3つの観点」と五つの領域別の目標との関係について理解し難い。)	3-(3)				
4	8	4	SNS 他：同ページ(4箇所)、9ページ(5箇所)、10ページ(5箇所)、11ページ(3箇所)、12ページ(1箇所)、13ページ(2箇所)、14ページ(3箇所)、15ページ(7箇所)	英語の現代慣用によっていない。 (SNS)	固有 2-(1)				
)、16ページ(6箇所)、17ページ(1箇所)、19ページ(2箇所)、20ページ(1箇所)、132ページ(3箇所)、134ページ(1箇所)、135ページ(1箇所)、136ページ(2箇所)、137ページ(4箇所)、142ページ						
			(1箇所)、143ページ(1箇所)、172ページ(4箇所)、190ページ(1箇所)						
5	19	9	「シャン」を高く読む	不正確である。 (高く読む位置)	3-(1)				
6	28	4	opportunitiesの前のスペース	誤植である。 (不要なスペース)	3-(2)				
7	28	側注 6行	environmentalの発音表記	生徒が誤解するおそれのある表記である。 (第3音節の発音について誤解するおそれ)	3-(3)				
8	33	6	I visited the museum yesterday.	相互に矛盾している。 (5行「通常、文末にくる内容語は特に強く発音される」との対応)	3-(1)				

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

2 枚中 2 枚目

受理番号 102-225		学校 高等学校		教科 外国語		種目 英語コミュニケーション I		学年	
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準				
	ページ	行							
9	65	5	that goesにあるthatの発音表記 他：9行John and Kenにあるandの発音表記	生徒が誤解するおそれのある表記である。 (発音について誤解するおそれ)	3-(3)				
10	100	8 - 9	As digital devices continued to improve, bio-logging became a successful research method. 他：102ページ13-14行	英語の現代慣用によっていない。 (時制)	固有 2-(1)				
11	100	10	animals; from 他：102ページ15行	英語の現代慣用によっていない。 (セミコロン)	固有 2-(1)				
12	116	26	a serious sewage problem 他：120ページ18行	英語の現代慣用によっていない。 (冠詞)	固有 2-(1)				
13	128	グラフ	The Number of Tourists to Japanの グラフ	学習上必要な出典が示されていない。	2-(11)				
14	128	8	30 million in ①	スクリプトと相互に適切な関連が図られていない。 (スクリプトでは、「over 30 million in 2018」と表記)	固有 1-(4)				
15	129	13	promote tourism 他：同行traffic jams	相互に矛盾している。 (12行指示文との対応)	3-(1)				
16	180	左欄 11行	enjoyed music class	英語の現代慣用によっていない。 (目的語の形)	固有 2-(1)				

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

受理番号 102-226		学校 高等学校		教科 外国語		種目 英語コミュニケーション I		学年	
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準				
	ページ	行							
1	全巻	全体	図書の内容全体	学習指導要領に示す内容に照らして、扱いが不適切である。 (内容(1)のア(イ)「文におけるイントネーション」)	2-(1)				
2	全巻	全体	図書の内容全体	学習指導要領に示す内容に照らして、扱いが不適切である。 (内容(1)のア(ウ)「文における区切り」)	2-(1)				
3	全巻	全体	図書の内容全体	学習指導要領に示す内容に照らして、扱いが不適切である。 (内容(1)のイ(イ)「コロン, セミコロン」, (ウ)「ダッシュ」)	2-(1)				
4	全巻	全体	図書の内容全体	学習指導要領に示す内容に照らして、扱いが不適切である。 (内容(1)のエ(イ)g「動詞の時制及び相など」(過去完了進行形))	2-(1)				
5	5	下囲み 2行	話す(やり取り/発表)とそのアイコン	図書の内容と「話すこと[やり取り]」, 「話すこと[発表]」の領域別の目標との関係が明示されていない。 (アイコンが区別して用いられていない。)	固有 1-(1)				
6	8	③つづ りと発 音下	youの発音表記	不正確である。 (母音表記)	3-(1)				
7	26	側注5 行	repairの発音表記 他: 56ページ側注10行reply, 58ページ側注9行regard(ed), 68ページ脚注5行Republic, 80ページ側注9行resort, 94ページ側注10行respect, 118ページ	不正確である。 (第1音節の母音表記)	3-(1)				
			側注6行retirement, 側注10行require(s), 120ページ側注1行remote, 122行側注16行religion, 134ページ側注14行reduceの発音表記						
8	26	脚注6 行	Fund-raising Campaignの発音表記 他: 脚注7行 Tourism Goodwill Ambassador, 46ページ脚注5行peach-picking basket, 120ページ5行handy massage cushionの発音表記	不正確である。 (強勢表記)	3-(1)				
9	65	グラフ	円グラフ	学習上必要な年次が示されていない。	2-(10)				

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

2 枚中 1 枚目

受理番号 102-227		学校 高等学校		教科 外国語		種目 英語コミュニケーション I		学年	
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準				
	ページ	行							
1	全巻	全体	図書の内容全体	学習指導要領に示す内容に照らして、扱いが不適切である。 (内容(1)のイ「句読法」)	2-(1)				
2	全巻	全体	図書の内容全体	学習指導要領に示す内容に照らして、扱いが不適切である。 (内容(1)のエ(イ)a「不定詞の用法」(知覚動詞と共に用いる原形不定詞))	2-(1)				
3	全巻	全体	図書の内容全体	学習指導要領に示す内容に照らして、扱いが不適切である。 (内容(1)のエ(イ)d「接続詞の用法」)	2-(1)				
4	全巻	全体	図書の内容全体	学習指導要領に示す内容に照らして、扱いが不適切である。 (内容(1)のエ(イ)f「前置詞の用法」)	2-(1)				
5	全巻	全体	図書の内容全体	学習指導要領に示す内容に照らして、扱いが不適切である。 (内容(1)のエ(イ)g「動詞の時制及び相など」(過去完了形及び過去完了進行形))	2-(1)				
6	5	上段 2行	「英語を話す活動です。」及び Speakingのアイコン	図書の内容と「話すこと [やり取り]」、「話すこと [発表]」の領域別の目標との関係が明示されていない。 (アイコンが区別して用いられていない。)	固有 1-(1)				
7	35	10	(1)～(4)	誤記である。 (番号)	3-(2)				
8	38	下段左 写真	おにぎりの写真	特定の商品の宣伝になるおそれがある。 (AEON)	2-(7)				
9	52	6	coin lockers 他：12行, 139ページ右欄34行, 146ページ左欄10行, 151ページ左欄最下行	英語の現代慣用によっていない。 (coin)	固有 2-(1)				
10	81	War m Up	school festival, school trip, school bandの発音表記	不正確である。 (強勢表記)	3-(1)				

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

5 枚中 1 枚目

受理番号 102-228		学校 高等学校		教科 外国語		種目 英語コミュニケーション I		学年	
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準				
	ページ	行							
1	全巻	全体	図書の内容全体	学習指導要領に示す内容に照らして、扱いが不適切である。 (内容(1)のイ(ウ)「ダッシュ」)	2-(1)				
2	全巻	全体	図書の内容全体	学習指導要領に示す内容に照らして、扱いが不適切である。 (内容(1)のエ(イ)g「動詞の時制及び相など」(過去完了進行形))	2-(1)				
3	表見返裏	右欄9行	I think you are wrong	英語の現代慣用によっていない。	固有 2-(1)				
4	4	5段	強くつぶやく	生徒にとって理解し難い表現である。 (言葉の意味が理解し難い。)	3-(3)				
5	5	1段	keep 他：4段head, 6段dog	不正確である。 (発音のヒント「より強く」に照らして)	3-(1)				
6	6	1	CEFR(ヨーロッパ言語共通参照枠)とは、英語の習熟度を測るものさしとして活用されている国際基準です。	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (英語だけの習熟度を測るものさしと誤解するおそれ)	3-(3)				
7	8	10	weights	誤りである。 (スペリング)	3-(1)				
8	12	Q3 1行	learn about through	英語の現代慣用によっていない。 (前置詞)	固有 2-(1)				
9	13	19	more two or three sentences	英語の現代慣用によっていない。 (moreの位置)	固有 2-(1)				
10	16	タイトル	image about Matsuoka Shuzo	英語の現代慣用によっていない。 (前置詞)	固有 2-(1)				

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

受理番号 102-228		学校 高等学校		教科 外国語	種目 英語コミュニケーション I	学年
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準	
	ページ	行				
11	17	5 - 6	It may be “passion,” “spirit,” or “cheer.” 及び「G 1」 他：22ページ15行，26ページ5行	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (be動詞の後の品詞)	3-(3)	
12	18	タイトル	messages 他：52ページタイトルのmessage	誤りである。 (スペリング)	3-(1)	
13	18	脚注1行	We care about his health because he often stays up late.	英語の現代慣用によっていない。 (主節の動詞と従属節の意味の対応)	固有 2-(1)	
14	23 - 24		Grammar & Exercises (全体) 他：39, 40, 55, 56, 71, 72, 91, 92, 107, 108, 123, 124, 139, 140, 159, 160, 175, 176ページのGrammar & Exercises (全体)	学習指導要領に示す「英語コミュニケーション I」の「内容」の(1)のエの「文構造及び文法事項」について、言語活動と効果的に関連付けて取り上げていない。	固有 1-(3)	
15	25	Final Tas	①の指示文 他：同ページの②，41ページ①，57ページ①，73ページ④，93ページ①，109ページ①②③，125ページ①②，141ページ①②③，161ページ①②の指	相互に矛盾している。 (アイコンとの対応)	3-(1)	
			示文			
16	25	左下囲み4行	and experience from them	誤りである。 (experienceの用法)	3-(1)	
17	41	4	SNSs	英語の現代慣用によっていない。	固有 2-(1)	
18	41	10	My sands are	表記が不統一である。 (本文での表記と不統一)	3-(4)	
19	47	脚注3行	about	表記が不統一である。 (他の下線部との対応)	3-(4)	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

受理番号 102-228		学校 高等学校		教科 外国語		種目 英語コミュニケーション I		学年	
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準				
	ページ	行							
20	49	脚注4行	beamsで下降	不正確である。 (beams)	3-(1)				
21	53	脚注4行	JAXA hasn't given up the idea.	不正確である。 (下線を施す箇所)	3-(1)				
22	54	6	JAXA's project	表記が不統一である。 (11行「JAXA project」に照らして不統一)	3-(4)				
23	60	脚注1行	その後の動詞の主語になっている	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (指している動詞について誤解するおそれ)	3-(3)				
24	65	脚注4行	and a 他：much of, Some of, Even under, gave up, p.99 1行in an, 4行in an animated, a group of, with a, some of its	表記が不統一である。 (2行目and aの下線との対応)	3-(4)				
25	67	脚注	少しだけ声を上げて読みます。 他：85ページ「下降して少し上昇」する音調を用います。 167ページ脚注 休止の前で軽く上昇させるイントネーションを用います。	不正確である。 (断定的に過ぎる。)	3-(1)				
			171ページ脚注 少しだけ上昇させて、次へつなぎます。						
26	70	27	They has	誤りである。 (動詞の形)	3-(1)				
27	83	脚注2行	つながります。	脱字である。	3-(2)				
28	99	脚注2行	in an animatedの発音表記	不正確である。	3-(1)				

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

5 枚中 4 枚目

受理番号 102-228		学校 高等学校	教科 外国語	種目 英語コミュニケーション I	学年
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準
	ページ	行			
29	113	Q 1 2行	for a day 他：125ページ大問2 (2箇所)	誤りである。 (前置詞)	3-(1)
30	121	脚注	[t, d]は落として発音します。	不正確である。 (断定的に過ぎる。)	3-(1)
31	121	脚注3 行	foodの下線	相互に矛盾している。 (説明文との対応)	3-(1)
32	125	大問2	the percentage of the amount of water	英語の現代慣用によっていない。 (of the amount)	固有 2-(1)
33	125	大問3	how much you can save the water	誤りである。 (冠詞)	3-(1)
34	128	17	had a big key to his success	英語の現代慣用によっていない。 (a big)	固有 2-(1)
35	132	脚注1 行	made a major role	誤りである。 (見出しの動詞との対応)	3-(1)
36	151	側注	Q3 What stuck to Swiss engineer's dog?	誤りである。 (冠詞)	3-(1)
37	164	2	ストレスは常に母音のところにきます 。	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (ストレスの位置)	3-(3)
38	164	中段2 段目	Wake up	誤りである。 (my bookの強勢表記との対応)	3-(1)

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

5 枚中 5 枚目

受理番号 102-228		学校 高等学校	教科 外国語	種目 英語コミュニケーション I	学年
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準
	ページ	行			
39	172	側注1 7行	non-Japaneseの強勢表記 他：p185 脚注1行 income gap	不正確である。	3-(1)
40	173	14 - 15	he also wrote important books on Japanese history, too	誤りである。 (同じ意味を持つ語の使用)	3-(1)
41	180	1	日本語は一語一語がほぼ同じ長さで発 音される	不正確である。 (一語一語)	3-(1)
42	182	脚注2 行	leisureの発音表記 他：p.184 脚注3行 organism	不正確である。	3-(1)
43	184	12 - 13	海の生態系を守るのはサンゴではある	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (海の生態系を守っているのがサンゴだけだと誤解 するおそれ)	3-(3)
44	186	3 - 4	iPS細胞は、人間の皮膚(human skin) から取り出した体細胞から構成されて おり	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (iPS細胞が複数の体細胞から構成されていると誤解 するおそれ)	3-(3)
45	186	7 - 8	何らかの動作をともなって記憶してい くことはワーキングメモリー(working memory)と呼ばれる。	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (ワーキングメモリーの意味を誤解するおそれ)	3-(3)

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

2 枚中 1 枚目

受理番号 102-229		学校 高等学校		教科 外国語		種目 英語コミュニケーション I		学年	
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準				
	ページ	行							
1	全巻	全体	図書の内容全体	学習指導要領に示す内容に照らして、扱いが不適切である。 (内容(1)のA(ウ)「文における区切り」)	2-(1)				
2	全巻	全体	図書の内容全体	学習指導要領に示す内容に照らして、扱いが不適切である。 (内容(1)のイ「句読法」)	2-(1)				
3	全巻	全体	図書の内容全体	学習指導要領に示す内容に照らして、扱いが不適切である。 (内容(1)のエ(イ)f「前置詞の用法」)	2-(1)				
4	12 - 13	下段	Speaking(Production/Interaction) (全体)	図書の内容と「話すこと [やり取り]」、「話すこと [発表]」の領域別の目標との関係が明示されていない。 (明示的に区別されていない。)	固有 1-(1)				
5	17	イント ネー ション	2, 3 の英文に付された矢印	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (上昇・下降の開始位置について誤解のおそれ)	3-(3)				
6	27	つながりやすい音	1. [goin gabroad], 2. [an dI was], 3. [takinga walk], 4. [twicea day], 5. [youca nonly], 6. [turnoff]	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (音読の仕方について誤解のおそれ)	3-(3)				
7	66	1	beseball	誤りである。 (スペリング)	3-(1)				
8	78	2	IBBY	生徒にとって理解し難い表現である。 (説明がなく、理解し難い。)	3-(3)				
9	109	A1	写真C	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (優先席について誤解のおそれ)	3-(3)				
10	149	左欄	everydayの発音表記	不正確である。 (第2選択の発音表記)	3-(1)				

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

4 枚中 1 枚目

受理番号 102-230		学校 高等学校		教科 外国語		種目 英語コミュニケーション I		学年	
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準				
	ページ	行							
1	全巻	全体	図書の内容全体	学習指導要領に示す内容に照らして、扱いが不適切である。 (内容(1)のイ「句読法」)	2-(1)				
2	全巻	全体	図書の内容全体	学習指導要領に示す内容に照らして、扱いが不適切である。 (内容(1)のエ(i)f「前置詞の用法」)	2-(1)				
3	全巻	全体	図書の内容全体	学習指導要領に示す内容に照らして、扱いが不適切である。 (内容(1)のエ(i)g「動詞の時制及び相など」(過去完了進行形))	2-(1)				
4	表見返Ⅲ		Dear World A Syrian Girl's Story of War and Plea for Peace 他: Encyclopedia Brown Boy Detective	誤りである。 (書籍名)	3-(1)				
5	8	中表	(5)の網かけ	生徒が誤解するおそれのある表である。 (2)と(5)を同じ文構造と誤解するおそれ)	3-(3)				
6	15	5	the figure skater 他: p.18 12行, p.20 9行 the figure skater, p78 2行 the hospitals	英語の現代慣用によっていない。 (冠詞)	固有 2-(1)				
7	16	Question	too extreme	相互に矛盾している。 (本文の文脈との対応)	3-(1)				
8	20	16	who climbed Mt. Everest	英語の現代慣用によっていない。 (関係代名詞の用法)	固有 2-(1)				
9	30	10	Now astronauts eat it	不正確である。 (代名詞)	3-(1)				
10	31	写真	boil-in-the-bag	表記が不統一である。 (同ページの他キャプションとの対応)	3-(4)				

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

4 枚中 2 枚目

受理番号 102-230		学校 高等学校	教科 外国語	種目 英語コミュニケーション I	学年
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準
	ページ	行			
11	41	図	Blazar (2箇所)	誤りである。 (スペリング)	3-(1)
12	41	下囲み 2行	hign	誤りである。 (スペリング)	3-(1)
13	52	図及び グラフ	世界地図と帯グラフ	学習上必要な出典, 年次が示されていない。	2-(10)
14	56	脚注	1. so did his teachers=his ...	誤植である。 (「=」前後のスペース)	3-(2)
15	61	23	2. Write a paragraph about a recent event.	生徒にとって理解し難い指示文である。 (5ページのComprehensionの位置づけに照らして理解し難い。)	3-(3)
16	66	図	[国土地理院 HP, 2018] 他: 67ページ[気象庁 HP, 2018], 139ページ[外務省 HP, 2019], 173ページ[外務省 HP, 2018]	不正確である。 (出典表示)	3-(1)
17	74	13	about 73 to 75% on average.	表記が不統一である。 (他の行末との対応)	3-(4)
18	79	3	What does John feel	英語の現代慣用によっていない。 (疑問詞)	固有 2-(1)
19	82	8 - 9	lower this concern	英語の現代慣用によっていない。 (動詞)	固有 2-(1)
20	84	10	dog's	英語の現代慣用によっていない。 (名詞の形)	固有 2-(1)

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

4 枚中 3 枚目

受理番号 102-230		学校 高等学校	教科 外国語	種目 英語コミュニケーション I	学年
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準
	ページ	行			
21	109	4 - 6	Writing & Speaking 2の指示文	相互に矛盾している。 (指示文とアイコンとの対応)	3-(1)
22	118	9	in the peace movement	誤りである。 (冠詞)	3-(1)
23	126	13	疑問文では上昇イントネーションになります。 他：18行 ※orのついた疑問文では、最初は上昇，文末は下降イントネーションになります。	不正確である。 (断定的に過ぎる。)	3-(1)
24	129	9	taste as well	誤りである。 (目的語がない)	3-(1)
25	147		Listeningの活動	学習上の支障を生ずるおそれがある。 (写真の語彙が表に記載されているため、聞く活動を行わずに回答できてしまうおそれ)	2-(1)
26	149	10	such a kind nurse like them	英語の現代慣用によっていない。 (同じ意味を持つ語句の使用)	固有 2-(1)
27	158	11	build it	誤りである。 (代名詞)	3-(1)
28	166	12	括弧の付された斜体 (2箇所) 他：同ページ8か所	表記が不統一である。 (図書内の省略可能な発音表記との対応)	3-(4)
29	167	3 - 5	対話文全体	生徒にとって理解し難い対話である。 (状況を理解し難い。)	3-(3)
30	167	15	cf. の英文	生徒にとって理解し難い例文である。 (想定される音の変化が7と合わない。)	3-(3)

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

2 枚中 1 枚目

受理番号 102-231		学校 高等学校		教科 外国語		種目 英語コミュニケーション I		学年	
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準				
	ページ	行							
1	全巻	全体	図書の内容全体	学習指導要領に示す内容に照らして、扱いが不適切である。 (内容(1)のイ「句読法」)	2-(1)				
2	全巻	全体	図書の内容全体	学習指導要領に示す内容に照らして、扱いが不適切である。 (内容(1)のエ(イ)g「動詞の時制及び相など」(過去完了進行形))	2-(1)				
3	表見返 III	SOURCES	Dear World A Syrian Girl's Story of War and Plea for Peace	誤りである。 (書籍名)	3-(1)				
4	7	10	OUTPUT!	表記が不統一である。 (21ページタイトルでは、OUTPUTと表記)	3-(4)				
5	15	14	it	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (itが指す内容について誤解するおそれ)	3-(3)				
6	35	12	mild taste curry	英語の現代慣用によっていない。 (taste)	固有 2-(1)				
7	40	グラフ	Did you care about school uniforms when you chose your high school?のグラフ	学習上必要な出典、年次が示されていない。	2-(10)				
8	45	15	a strong uniform	英語の現代慣用によっていない。 (uniformとともに用いるstrong)	固有 2-(1)				
9	47	囲み 2行	uniforms?の後ろにある矢印	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (下げ調子で読む位置について誤解するおそれ)	3-(3)				
10	50	Informati	School Uniforms around the world(全体)	主たる記述と適切に関連付けて扱われていない。	2-(13)				

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

2 枚中 2 枚目

受理番号 102-231		学校 高等学校		教科 外国語		種目 英語コミュニケーション I		学年	
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準				
	ページ	行							
11	51	2	Student	誤りである。 (名詞の形)	3-(1)				
12	58	グラフ	[気象庁 HP, 2018] 他：120, 136, 170ページの[外務省 HP, 2019]	不正確である。 (出典表示)	3-(1)				
13	73	14	wise	英語の現代慣用によっていない。 (犬に用いるwise)	固有 2-(1)				
14	92	11	elder people	表記が不統一である。 (131ページ16行では, elderly peopleと表記)	3-(4)				
15	95	3	are.	相互に矛盾している。 (94ページ6行what they mean.との対応)	3-(1)				
16	107	6	SNS 他：109ページ14行, 113ページ15行, 115ページ15行, 118ページ1, 7行, 119ページ10行	英語の現代慣用によっていない。 (SNS)	固有 2-(1)				
17	121	8	overcame	誤りである。 (動詞の形)	3-(1)				
18	172	下段	a date on one autumn day	英語の現代慣用によっていない。 (前置詞)	固有 2-(1)				

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

3 枚中 1 枚目

受理番号 102-232		学校 高等学校		教科 外国語		種目 英語コミュニケーション I		学年	
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準				
	ページ	行							
1	全巻	全体	図書の内容全体	学習指導要領に示す内容に照らして、扱いが不適切である。 (内容(1)のア(ア)「文における強勢」)	2-(1)				
2	全巻	全体	図書の内容全体	学習指導要領に示す内容に照らして、扱いが不適切である。 (内容(1)のイ「句読法」)	2-(1)				
3	全巻	全体	図書の内容全体	学習指導要領に示す内容に照らして、扱いが不適切である。 (内容(1)のエ(イ) _a 「不定詞の用法」(知覚動詞と共に用いる原形不定詞))	2-(1)				
4	全巻	全体	図書の内容全体	学習指導要領に示す内容に照らして、扱いが不適切である。 (内容(1)のエ(イ) _g 「動詞の時制及び相など」(過去完了形・過去完了進行形))	2-(1)				
5	18	下囲み	rの発音「舌を丸め」及びイラスト 他：34, 72ページ下囲みsの発音「歯を閉じ」及びイラスト	不正確である。 (発音の仕方)	3-(1)				
6	24	8	chololates	誤りである。 (スペリング)	3-(1)				
7	36 - 37	FOC US+	TRY(全体) 他：62, 63, 102, 103ページのTRY(全体)	学習指導要領に示す「英語コミュニケーション I」の「内容」の(1)のエの「文構造及び文法事項」について、言語活動と効果的に関連付けて取り上げていない。	固有 1-(3)				
8	41	下段A 吹き出し	in the zoo	英語の現代慣用によっていない。 (前置詞)	固有 2-(1)				
9	44	SKI LLS2行	次の英文で代名詞が何の代わりになっているか考えて読みましょう。	生徒にとって理解し難い設問である。 (想定される答えが青字で示されている。)	3-(3)				
10	65	3	have yellow one	英語の現代慣用によっていない。 (冠詞がない。)	固有 2-(1)				

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

3 枚中 2 枚目

受理番号 102-232		学校 高等学校	教科 外国語	種目 英語コミュニケーション I	学年
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準
	ページ	行			
11	69	下囲み	HINTS≫pp. 114-115	生徒にとって理解し難い表現である。 (参照ページとして理解し難い。)	3-(3)
12	78	側注 9行	military 他：127ページ中欄21行	不正確である。 (第3音節の母音表記)	3-(1)
13	78	脚注 1行	Congo 他：121ページ左欄22行	不正確である。 (第1音節の母音表記)	3-(1)
14	81	TRY 2. 指示 文	語句を並べかえましょう。	不正確である。 (括弧内には語のみが示されており、指示文が不正確)	3-(1)
15	84	脚注 1行	Gary Oldman	不正確である。 (母音表記)	3-(1)
16	94	6	However in	英語の現代慣用によっていない。 (コンマがない。)	固有 2-(1)
17	94	側注 11行	develop(ing)の発音表記	不正確である。 (括弧内の子音表記)	3-(1)
18	95	KEY WORDS	dirty	英語の現代慣用によっていない。 (絵と想定される答えとの対応)	固有 2-(1)
19	95	最下行 B吹き 出し	I put apples and peaches.	英語の現代慣用によっていない。 (前置詞がない。)	固有 2-(1)
20	96	5	the purifying powder 他：97ページ中段6行the powder	誤りである。 (冠詞)	3-(1)

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

3 枚中 3 枚目

受理番号 102-232	学校 高等学校	教科 外国語	種目 英語コミュニケーション I	学年
--------------	---------	--------	------------------	----

番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準
	ページ	行			
21	97	下段A 吹き出し	a person	英語の現代慣用によつていない。 (a person)	固有 2-(1)
22	97	下段B 吹き出し	Wright Brothers	誤りである。 (冠詞がない。)	3-(1)
23	99	下囲み 2行	machine that save	誤りである。 (動詞の形)	3-(1)
24	125	中欄 34行	illegalの発音表記	不正確である。 (第2音節の母音表記)	3-(1)
25	126	右欄 33行	logicalの発音表記	不正確である。 (第1音節の母音表記)	3-(1)
26	129	左欄 33行	educationの発音表記	不正確である。 (第1音節の子音表記)	3-(1)

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

受理番号 102-233		学校 高等学校		教科 外国語	種目 英語コミュニケーション I	学年
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準	
	ページ	行				
1	全巻	全体	図書内容全体	学習指導要領に示す内容に照らして、扱いが不適切である。 (内容(1)のA(ウ)「文における区切り」)	2-(1)	
2	全巻	全体	図書内容全体	学習指導要領に示す内容に照らして、扱いが不適切である。 (内容(1)のイ「句読法」)	2-(1)	
3	8 - 9		Pre-Lesson (全体)	学習指導要領に示す「英語コミュニケーション I」の「内容」の(1)のエの「文構造及び文法事項」について、言語活動と効果的に関連付けて取り上げていない。	固有 1-(3)	
4	15	中段	Grammar (全体) 他：各SectionにあるGrammar (全体) 及び166-179ページ「文法のまとめ」(全体)	学習指導要領に示す「英語コミュニケーション I」の「内容」の(1)のエの「文構造及び文法事項」について、言語活動と効果的に関連付けて取り上げていない。	固有 1-(3)	
5	15	14	seeの黄色の網かけ	表記が不統一である。 (13行の動詞の網かけの色と不統一)	3-(4)	
6	15	下段	Expressionに付されたアイコン 他：各SectionにあるExpressionに付されたアイコン	相互に矛盾している。 (指示文に示された活動とアイコンとの対応)	3-(1)	
7	19	11	the change of the season	表記が不統一である。 (18ページ10-11行the change of the seasonsと表記が不統一)	3-(4)	
8	20	中段	Productionに付されたアイコン 他：各LessonにあるProductionに付されたアイコン	相互に矛盾している。 (指示文に示された活動とアイコンとの対応)	3-(1)	
9	21	Ⅱ, Ⅲ	Drills (全体) 他：33, 45, 59, 71, 83, 97, 113, 131, 147 ページのDrills (全体)	学習指導要領に示す「英語コミュニケーション I」の「内容」の(1)のエの「文構造及び文法事項」について、言語活動と効果的に関連付けて取り上げていない。	固有 1-(3)	
10	21	Ⅳ	Try (全体) 他：33, 45, 59, 71, 83, 97, 113, 131, 147 ページのTry (全体)	学習指導要領に示す「英語コミュニケーション I」の「内容」の(1)のエの「文構造及び文法事項」について、言語活動と効果的に関連付けて取り上げていない。	固有 1-(3)	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

5 枚中 2 枚目

受理番号 102-233		学校 高等学校	教科 外国語	種目 英語コミュニケーション I	学年
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準
	ページ	行			
11	22	Let's Try	大問1. に付されたアイコン 他：各Let's Tryにある大問1. に付されたアイコン	相互に矛盾している。 (指示文に示された活動とアイコンとの対応)	3-(1)
12	22	上段左表	「日本人が好きな絶景に関する調査」の表	学習上必要な年次が示されていない。	2-(10)
13	33	I 問3	plane 他：49ページ下段右1.Number six bus, 59ページII 4.Bright future, 131ページII 1.few more years, 177ページ11行Olympics	英語の現代慣用によっていない。 (冠詞がない。)	固有 2-(1)
14	50	下段囲み4行	airplane(s)の発音表記	表記が不統一である。 (56ページ側注7行airlineの第1音節の発音表記と不統一)	3-(4)
15	54	6	the screen	表記が不統一である。 (4行the screensとの対応)	3-(4)
16	71	I 問1	\$1500 () a month.	不正確である。 (64ページ6-7行\$300 a monthに照らして、括弧に入る語がない。)	3-(1)
17	72	上段表	LIFE EXPECTANCYの図	表記が不統一である。 (EDUCATIONの図の表し方と不統一)	3-(4)
18	72	上段	World Bankの表	学習上必要な年次が示されていない。	2-(10)
19	72	大問2	2 人で	誤植である。 (不要なスペース)	3-(2)
20	80	側注11行	zalabiaの発音表記	不正確である。 (第2音節の母音表記)	3-(1)

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

5 枚中 3 枚目

受理番号 102-233		学校 高等学校	教科 外国語	種目 英語コミュニケーション I	学年
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準
	ページ	行			
21	84	脚注 2行	jerry fish	誤りである。 (スペリング)	3-(1)
22	87	上段左	Beautiful & Spectacle	不正確である。 (名詞の形)	3-(1)
23	87	中段囲 み1行	Only on weekdays	脱字である。 (ピリオドがない。)	3-(2)
24	87	下段右	“Renjishi” Storyの5行目のwill nurtures	誤りである。 (動詞の形)	3-(1)
25	87	下段右	To purchase ticket or additional information	不正確である。 (ticket or additional information)	3-(1)
26	98	写真	美術館の入り口の写真	特定の営利企業の宣伝になるおそれがある。 (クレジットカード会社のロゴ)	2-(7)
27	99	14	he can calculate	誤りである。 (助動詞の形)	3-(1)
28	105	15	(on which nearly nine million kinds of living things exist.	脱字である。 (括弧がない。)	3-(2)
29	114	Let 's Try	大問2. のストーリー	表記が不統一である。 (98ページLet's Try大問2. のストーリーと不統一)	3-(4)
30	115	11 - 12	At least	英語の現代慣用によっていない。 (文脈との対応)	固有 2-(1)

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

5 枚中 4 枚目

受理番号 102-233		学校 高等学校		教科 外国語		種目 英語コミュニケーション I		学年	
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準				
	ページ	行							
31	120	側注 3行	Yodaの発音表記	表記が不統一である。 (106ページ側注10行overhuntingの第1音節の母音表記と不統一)	3-(4)				
32	126	側注 9行	concentrateの発音表記	不正確である。 (第3音節の子音表記)	3-(1)				
33	131	I 問1	Takahiro is () () () playing the guitar in the group.	学習上の支障を生ずるおそれがある。 (想定される答えが当該Lessonで扱われておらず、解答できない。)	2-(1)				
34	133	13	daylights 他：21行，脚注1行daylight(s)	英語の現代慣用によっていない。 (名詞の形)	固有 2-(1)				
35	133	22	sun	不正確である。 (冠詞がない。)	3-(1)				
36	134	脚注 1行	NHLの発音表記 他：162ページ2行cabbeの発音表記	不正確である。 (強勢表記がない。)	3-(1)				
37	135	12	ours	英語の現代慣用によっていない。 (代名詞の形)	固有 2-(1)				
38	141	8	poly-glutamic	表記が不統一である。 (140ページ7-8行Poly-glutamic acidと表記が不統一)	3-(4)				
39	148	上段右 図	ARE EFFECTED	英語の現代慣用によっていない。 (過去分詞の形)	固有 2-(1)				
40	151	7 - 8	something that only for children but also adults can enjoy	不正確である。 (only for children)	3-(1)				

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

5 枚中 5 枚目

受理番号 102-233		学校 高等学校	教科 外国語	種目 英語コミュニケーション I	学年
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準
	ページ	行			
41	162	3	aburanaの発音表記	不正確である。 (第3音節の子音表記)	3-(1)
42	162	5	yellow(er)の発音表記	不正確である。 (括弧の位置)	3-(1)
43	164	上段 [h]	日本語の「ハ行」と同じ音です。 他：下段[b]日本語の「バ行」と同じ 発音です。	生徒にとって理解し難い表現である。 (特定の子音の説明として理解し難い。)	3-(3)
44	164	下段 [v]	息を吐きだす際に「ウー」と言います 。	生徒にとって理解し難い表現である。 ([v]の発音の仕方として理解し難い。)	3-(3)
45	165	上段	[r]の図	生徒が誤解するおそれのある図である。 (舌の位置)	3-(3)
46	165	中段囲 み	4. car	不正確である。 (見出し発音表記との対応)	3-(1)
47	166 - 179		「文法のまとめ」 (全体)	主たる記述と適切に関連付けて扱われていない。	2-(13)
48	166 - 179		「文法のまとめ」 (全体)	生徒にとって理解し難い教材である。 (説明がなく、活用方法が理解し難い。)	3-(3)
49	183	第2欄 41行	charge・・・126	不正確である。 (126ページにchargeがない。)	3-(1)

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

受理番号 102-234		学校 高等学校		教科 外国語		種目 英語コミュニケーション I		学年	
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準				
	ページ	行							
1	全巻	全体	図書の内容全体	学習指導要領に示す内容に照らして、扱いが不適切である。 (内容(1)のア(イ)「文におけるイントネーション」)	2-(1)				
2	全巻	全体	図書の内容全体	学習指導要領に示す内容に照らして、扱いが不適切である。 (内容(1)のイ「句読法」)	2-(1)				
3	全巻	全体	図書の内容全体	学習指導要領に示す内容に照らして、扱いが不適切である。 (内容(1)のエ(イ)g「動詞の時制及び相など」(過去完了進行形))	2-(1)				
4	2	15	Handicapped 他：73ページ(2ヶ所)，74ページ脚注1行，75ページ7行，77ページ2行，78ページ5行 handicapped, 78ページ13行 handicaps, 脚注2行 handicap,	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (handicap(ped))	3-(3)				
			80ページ(2ヶ所)，81ページ2行，82ページ(4ヶ所)，84ページ10行 handicapped, 187ページ3欄19行 handicap, 同20行handicapped						
5	10	1 - 2	write down advantages and disadvantages	英語の現代慣用によっていない。 (冠詞)	固有 2-(1)				
6	16	Com prehen	Summary「書く」アイコン 他：30, 44, 58, 82, 96, 112, 128, 144, 162ページのSummary「書く」アイコン	相互に矛盾している。 (指示文に示された活動とアイコンとの対応)	3-(1)				
7	19		Exercises 1 (全体)	学習指導要領に示す「英語コミュニケーション I」の「内容」の(1)のエの「文構造及び文法事項」について、言語活動と効果的に関連付けて取り上げていない。	固有 1-(3)				
8	19		Exercises 2, 3 (全体) 他：33ページExercises 2, 3, 47ページExercises 1-4, 61ページExercises 1-4, 85ページExercises 1-3, 99ページExercises 1, 2, 115ページ	学習指導要領に示す「英語コミュニケーション I」の「内容」の(1)のエの「文構造及び文法事項」について、言語活動と効果的に関連付けて取り上げていない。	固有 1-(3)				
			Exercises 1-3, 131ページExercises 1-3, 147ページExercises 1-3, 165ページExercises 1, 2						

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

5 枚中 2 枚目

受理番号 102-234		学校 高等学校	教科 外国語	種目 英語コミュニケーション I	学年
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準
	ページ	行			
9	23	脚注 3行	Koalas live on only plant. 他：180ページ20行	英語の現代慣用によっていない。 (単数形)	固有 2-(1)
10	27	側注2 行	Who knows. 他：脚注2行（2ヶ所）、180ページ28 行（2ヶ所）	生徒が誤解するおそれのある表記である。 (これが一般的なパンクチュエーションであるかの ように誤解するおそれ)	3-(3)
11	31	2 指 示文	Fill the chart	英語の現代慣用によっていない。 (活動内容を表す表現)	固有 2-(1)
12	34	右3段 目	[r]の図	生徒が誤解するおそれのある図である。 (舌の位置)	3-(3)
13	34	2	斜体のh 他：5行、右上図キャプション	不正確である。 (子音の表記)	3-(1)
14	34	5	日本語の「ハ行」と同じ音です。 他：7行 日本語の「バ行」と同じ発 音です。	生徒にとって理解し難い表現である。 (特定の子音の説明として理解し難い。)	3-(3)
15	34	8 - 9	息を吐き出す際に「ウー」と言います 。	生徒にとって理解し難い表現である。 ([v]の発音の仕方として理解し難い。)	3-(3)
16	34	23	シの子音もほぼ同じです。	生徒にとって理解し難い表現である。 (英語と日本語の対比について理解し難い。)	3-(3)
17	34	24	舌先を軽く噛み、	生徒が誤解するおそれのある表現である。 ([θ]の発音について誤解するおそれ)	3-(3)
18	63	1 - 2	四大悲劇の一つである『ハムレット』 は主人公の父親を毒殺した叔父に復讐 を決意するものの、決断することがな かなかできずに悩み苦しむ。	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (作品名と人物名の関係)	3-(3)

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

受理番号 102-234		学校 高等学校		教科 外国語		種目 英語コミュニケーション I		学年	
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準				
	ページ	行							
19	76	3	she made a record debut	英語の現代慣用によっていない。 (record)	固有 2-(1)				
20	82	28	provides many kinds of supports	英語の現代慣用によっていない。 (supports)	固有 2-(1)				
21	84	10	Ms. Miyagi 他：14行	表記が不統一である。 (77ページ2行Ms. Miyagiとスペースが不統一)	3-(4)				
22	88	表	右欄4段の That, s	誤植である。	3-(2)				
23	90	脚注 4行	The doors opens by itself. 他：182ページ右段12行の同表現	誤りである。 (文法)	3-(1)				
24	96	16	as the traffic condition changed.	英語の現代慣用によっていない。 (単数形)	固有 2-(1)				
25	102	音に関 わる現 象	11行③カッコ内2番目の発音表記	生徒にとって理解し難い表現である。 (発音表記)	3-(3)				
26	104	6 - 7	a wide variety of classics including, Wakansansaizue,	英語の現代慣用によっていない。 (パンクチュエーション)	固有 2-(1)				
27	106	脚注 4行	Q2 (全体)	相互に矛盾している。 (同ページ本文との対応)	3-(1)				
28	107	14 - 15	he argued with a rude museum worker several times and was finally told not to visit the institution.	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (南方熊楠が大英博物館読書室利用を断られた原因 について誤解のおそれ)	3-(3)				

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

受理番号 102-234		学校 高等学校		教科 外国語		種目 英語コミュニケーション I		学年	
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準				
	ページ	行							
29	109	11	He insisted that ...	誤りである。 (スペリング)	3-(1)				
30	118	脚注 2行	contrastの発音表記	不正確である。 (第1音節の母音表記)	3-(1)				
31	132	脚注 3行	Sri LankaのLankaの発音表記	不正確である。 (第1音節の母音表記)	3-(1)				
32	146	23 - 24	If my fathher had had ten million yen last year. He might have bought another car.	誤りである。 (仮定法過去完了の文構造)	3-(1)				
33	149	脚注 1行	recreateの発音表記	誤りである。 (本文で用いられている意味に照らして)	3-(1)				
34	151	黒網掛 け右下	or additional information:	不正確である。 (表記が不正確)	3-(1)				
35	151	ポスター	ポスターの文字	学習上の支障を生ずるおそれがある。 (文字を正確に判読できない。)	2-(1)				
36	151	ポスター 絵下	refer	誤りである。 (文法)	3-(1)				
37	151	ポスター	9:00p.m-9:55 p.m	不正確である。 (時刻の表記)	3-(1)				
38	154	左表タイトル	ジェンダー・ギャップの順位 他：右表タイトル 主な先進国の順位	生徒にとって理解し難い表現である。 (何についての順位であるのか理解し難い。)	3-(3)				

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

5 枚中 5 枚目

受理番号 102-234		学校 高等学校		教科 外国語		種目 英語コミュニケーション I		学年	
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準				
	ページ	行							
39	154	4	121th	誤りである。 (序数)	3-(1)				
40	157	脚注 1行	especiallyの発音表記	誤りである。 (子音の重複)	3-(1)				
41	160	脚注 1行	freshman	不正確である。 (第2音節の母音表記)	3-(1)				
42	160	脚注 7行	When Nozomi was attacked by a man?	誤りである。 (文法)	3-(1)				
43	169	右欄 15行	the bests	英語の現代慣用によっていない。 (複数形)	固有 2-(1)				
44	176	11	I do not care if John speak Japanese (or not).	誤りである。 (文法)	3-(1)				
45	180	12	Mr. Oka	表記が不統一である。 (181ページ8行Mr. Okaとスペースが不統一)	3-(4)				
46	185	第3欄 10行	buddhist	誤りである。 (スペリング)	3-(1)				
47	187	第3欄 20行	handicaped	誤りである。 (スペリング)	3-(1)				
48	裏見返	10	Ne'er 他：24行 Don't	表記が不統一である。 (3行 '39とアポストロフィの表記が不統一)	3-(4)				

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

受理番号 102-235		学校 高等学校		教科 外国語		種目 英語コミュニケーション I		学年	
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準				
	ページ	行							
1	全巻	全体	図書の内容全体	学習指導要領に示す内容に照らして、扱いが不適切である。 (内容(1)のア(ウ)「文における区切り」)	2-(1)				
2	全巻	全体	図書の内容全体	学習指導要領に示す内容に照らして、扱いが不適切である。 (内容(1)のイ「句読法」)	2-(1)				
3	全巻	全体	図書の内容全体	学習指導要領に示す内容に照らして、扱いが不適切である。 (内容(1)のエ(イ)a「不定詞の用法」(知覚動詞と共に用いる原形不定詞))	2-(1)				
4	全巻	全体	図書の内容全体	学習指導要領に示す内容に照らして、扱いが不適切である。 (内容(1)のエ(イ)g「動詞の時制及び相など」(過去完了形・過去完了進行形))	2-(1)				
5	14	右下囲み	pp.142-145 Tool Box Plus 他：16, 18, 25, 33, 43, 65, 67, 83, 85, 117, 119, 129, 139ページの同表現	不正確である。 (参照ページ)	3-(1)				
6	36 - 37	文法のまとめ	Practice(全体) 他：72, 73, 110, 111, 140, 141ページのPractice(全体)	学習指導要領に示す「英語コミュニケーション I」の「内容」の(1)のエの「文構造及び文法事項」について、言語活動と効果的に関連付けて取り上げていない。	固有 1-(3)				
7	93	脚注1行	strawberry pieの発音表記 他：117ページ脚注1行plastic bottle, 脚注2行plastic straw, 脚注3行plastic wrap, 125ページ側注8行musical instrument, 131ページ脚注1	不正確である。 (強勢表記)	3-(1)				
			行hot springの発音表記						
8	102	下段7-8行	can participate in	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (101ページ2-3行can participate more inに照らして、本文内容について誤解するおそれ)	3-(3)				
9	113	4	8,000,000 kilos	不正確である。 (単位)	3-(1)				

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

2 枚中 2 枚目

受理番号 102-235	学校 高等学校	教科 外国語	種目 英語コミュニケーション I	学年
--------------	---------	--------	------------------	----

番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準
	ページ	行			
10	121	脚注 1行	Vermeerの発音表記	不正確である。 (強勢のある母音表記)	3-(1)
11	124	側注 6行	Japanese-Americanの発音表記	不正確である。 (強勢表記)	3-(1)
12	146	2 - 3	日本語だけを見て英語が言えるようになるまで、何度も音読しましょう。言えるようになったら、□に印をつけましょう。	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (学習内容の定着を図るための活動方法について誤解のおそれ)	3-(3)
13	154	左欄 37行	fried noodle	英語の現代慣用によっていない。 (名詞の形)	固有 2-(1)
14	155	左欄 1行	Hamburg steak	誤記である。 (語頭の大文字)	3-(2)

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

2 枚中 1 枚目

受理番号 102-236		学校 高等学校		教科 外国語		種目 英語コミュニケーション I		学年	
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準				
	ページ	行							
1	全巻	全体	本図書に用いられている新語数	図書の中で用いられている英語の新語数は、学習指導要領に示す内容に照らして、扱いが不適切である。 (内容(1)のウ(7)に示す「400～600語程度の新語」)	2-(1)				
2	全巻	全体	図書内容全体	学習指導要領に示す内容に照らして、扱いが不適切である。 (内容(1)のエ(4)g「動詞の時制及び相など」(過去完了進行形))	2-(1)				
3	6	Pre-Lesso	Try It! (全体) 他：7-10ページのTry It! (全体)	学習指導要領に示す「英語コミュニケーション I」の「内容」の(1)のエの「文構造及び文法事項」について、言語活動と効果的に関連付けて取り上げていない。	固有1-(3)				
4	12	21	Januaryの下線 他：最下行idealの下線	不正確である。 (見出しの発音表記との対応)	3-(1)				
5	16-17	下段	Grammar (全体) 他：各Part及び章末ReviewにあるGrammar (全体) 及び168-173ページ「文法のまとめ」(全体)	学習指導要領に示す「英語コミュニケーション I」の「内容」の(1)のエの「文構造及び文法事項」について、言語活動と効果的に関連付けて取り上げていない。	固有1-(3)				
6	111	側注12行	common senseの発音表記	不正確である。 (強勢表記)	3-(1)				
7	125	側注8行	Newfoundlandの発音表記	表記が不統一である。 (135ページ側注2行newscasterの第1音節の発音表記と不統一)	3-(4)				
8	160-162		THANK YOU, ICHIRO. (全体)	生徒にとって理解し難い活動である。 (活動内容が理解し難い。)	3-(3)				
9	168-173		「文法のまとめ」(全体)	主たる記述と適切に関連付けて扱われていない。	2-(13)				
10	168	2-3	英語を見て日本語、日本語を見て英語が言えるように、練習しましょう。言えるようになったら□に印を入れましょう。	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (学習内容の定着を図るための活動方法について誤解のおそれ)	3-(3)				

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

3 枚中 1 枚目

受理番号 102-237		学校 高等学校		教科 外国語		種目 英語コミュニケーション I		学年	
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準				
	ページ	行							
1	全巻	全体	図書の内容全体	学習指導要領に示す内容に照らして、扱いが不適切である。 (内容(1)のア(イ)「文におけるイントネーション」)	2-(1)				
2	全巻	全体	図書の内容全体	学習指導要領に示す内容に照らして、扱いが不適切である。 (内容(1)のエ(イ)d「接続詞の用法」)	2-(1)				
3	全巻	全体	図書の内容全体	学習指導要領に示す内容に照らして、扱いが不適切である。 (内容(1)のエ(イ)f「前置詞の用法」)	2-(1)				
4	全巻	全体	図書の内容全体	学習指導要領に示す内容に照らして、扱いが不適切である。 (内容(1)のエ(イ)g「動詞の時制及び相など」(過去完了進行形))	2-(1)				
5	15		「Grammar」(全体) 他: 29, 45, 59, 75, 89, 105, 119ページの「Grammar」(全体)及び151, 153, 154, 155, 157, 158ページの「Grammar Exercises」(全体)	学習指導要領に示す「英語コミュニケーション I」の「内容」の(1)のエの「文構造及び文法事項」について、言語活動と効果的に関連付けて取り上げていない。	固有 1-(3)				
6	22 - 23	写真	絵馬に書かれた文字	特定の個人の権利を侵害するおそれがある。 (絵馬に書かれた氏名及び住所から個人を特定されるおそれ)	2-(8)				
7	27	14 - 15	So in China, you should avoid giving gifts in multiples of four. 他: 26ページ囲みのCHINAの項	不正確である。 (4の倍数である8は該当しない。)	3-(1)				
8	36	表4段目	I say and understand	表記が不統一である。 (他のタスクとの対応)	3-(4)				
9	45	表右欄	Thanks in advance.	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (フォーマルな表現として誤解するおそれ)	3-(3)				
10	46	地図	Kamikatsuの位置	不正確である。 (上勝町の位置として)	3-(1)				

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

受理番号 102-237		学校 高等学校		教科 外国語	種目 英語コミュニケーション I	学年
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準	
	ページ	行				
11	56	10	for economic reasons	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (経済的理由が主であると誤解するおそれ)	3-(3)	
12	64	右囲み 3-4行	People of all ages dance with fans in their hands.	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (必ずうちわを持って踊ると誤解するおそれ)	3-(3)	
13	89	上囲み	「刑務所の石灰石鉱山で働いたので、 彼は目に損傷を負った」(理由)	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (日本語訳について誤解するおそれ)	3-(3)	
14	89	グラフ	Nelson Mandela's life	生徒にとって理解し難いグラフである。 (縦軸が何を示すのか理解し難い。)	3-(3)	
15	103	左欄2 7行	a photo of an animal	誤りである。 (名詞の形)	3-(1)	
16	140	1	中学校で学習したとみなす語	不正確である。 (中学校で)	3-(1)	
17	140	左欄1 4行	farmlandの発音表記	表記が不統一である。 (142ページ左欄15行cartonの発音表記との対応)	3-(4)	
18	141	左欄1 7行	Europeの発音表記 他：左欄18行European, 右欄21行 various, 150ページ左欄5行canaryの 発音表記	不正確である。 (第1音節の母音表記)	3-(1)	
19	142	右欄1 行	reuseの発音表記	不正確である。 (第1音節の母音表記)	3-(1)	
20	147	左欄1 4行	grandeurの発音表記	不正確である。 (発音表記)	3-(1)	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

3 枚中 3 枚目

受理番号 102-237		学校 高等学校		教科 外国語		種目 英語コミュニケーション I		学年	
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準				
	ページ	行							
21	147	左欄2 1行	outdoorsの発音表記	不正確である。 (強勢表記)	3-(1)				
22	151 - 158	全体	「Grammar Exercises」 (全体)	生徒にとって理解し難い教材である。 (説明がなく、活用方法が理解し難い。)	3-(3)				
23	151 - 158	全体	「Grammar Exercises」 (全体)	主たる記述と適切に関連付けて扱われていない。	2-(13)				
24	194	左di phthon	idealの青字部分 他：右10段 manual, statue, few, unicorn, eugenicsの青字部分	不正確である。 (見出しの発音表記との対応)	3-(1)				
25	196	全体	Correction Codes	生徒が誤解するおそれのある表である。 (一般的なものと同様のおそれ)	3-(3)				

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

3 枚中 1 枚目

受理番号 102-238		学校 高等学校	教科 外国語	種目 英語コミュニケーション I	学年
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準
	ページ	行			
1	全巻	全体	全体図書の内容全体	学習指導要領に示す内容に照らして、扱いが不適切である。 (内容(1)のイ(ウ)ダッシュ)	2-(1)
2	全巻	全体	全体図書の内容全体	学習指導要領に示す内容に照らして、扱いが不適切である。 (内容(1)のエ(イ)g「動詞の時制及び相など」(過去完了進行形))	2-(1)
3	13	写真	右上写真ボールのロゴ	特定の営利企業の宣伝になるおそれがある。	2-(7)
4	22	Grammar	Exercises①(全体)	学習指導要領に示す「英語コミュニケーション I」の「内容」の(1)のエの「文構造及び文法事項」について、言語活動と効果的に関連付けて取り上げていない。	固有 1-(3)
5	23	図	The road to the top of the basketball world	学習上必要な出典、年次が示されていない。	2-(10)
6	27	側注 19行	praiseの発音表記	表記が不統一である。 (10行 obeyの母音表記と不統一)	3-(4)
7	39	側注 4行	coralの発音表記 他：p.51側注10行 toss, p.65側注16行softly	表記が不統一である。 (p.52 側注14行slotの母音表記と不統一)	3-(4)
8	39	側注 14行	Haiyanの発音表記	不正確である。 (発音表記)	3-(1)
9	41	グラフ	グラフ	学習上必要な出典が示されていない。	2-(10)
10	47	7 - 8	(Source: Ministry of the Environment)	不正確である。 (出典表示)	3-(1)

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

3 枚中 2 枚目

受理番号 102-238		学校 高等学校		教科 外国語		種目 英語コミュニケーション I		学年	
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準				
	ページ	行							
11	50	側注 10行	punishment	不正確である。 (母音表記)	3-(1)				
12	52	側注 10行	Ronaldoの発音表記	不正確である。 (母音表記)	3-(1)				
13	61	中図	HOUSE RULESの1 athithi devo bhava	生徒にとって理解し難い表現である。 (意味が理解できない。)	3-(3)				
14	81	地図	source: World Food Programme	不正確である。 (出典表示)	3-(1)				
15	84	側注 2行	Jurassicの発音表記	不正確である。 (母音表記)	3-(1)				
16	93	Q2	How fast could dinosaurs run?	学習上必要な出典, 年次が示されていない。	2-(10)				
17	115	右上図	@kiriara.co.jp	特定の営利企業の宣伝になるおそれがある。	2-(7)				
18	139	9	LINE 他: 10行	特定の営利企業の宣伝になるおそれがある。	2-(7)				
19	144	地図右	カンボジアのデータ	学習上必要な出典, 年次が示されていない。	2-(10)				
20	172	左欄 3-4行	vi. a scientific test to learn something	相互に矛盾している。 (見出し語の品詞と語義の内容が相互に矛盾)	3-(1)				

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

3 枚中 3 枚目

受理番号 102-238	学校 高等学校	教科 外国語	種目 英語コミュニケーション I	学年
--------------	---------	--------	------------------	----

番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準
	ページ	行			
21	裏見返し	母音+[r] 4行	cashier	誤りである。 (見出しの音と異なる語)	3-(1)
22	裏見返し	右ページ	中段左欄13行 舌先の上の前歯の内側に近づけて,	生徒にとって理解し難い表現である。 (発音の仕方)	3-(3)
23	裏見返し	右ページ	中段右欄4行 舌の先を巻き上げて,	不正確である。 (発音の仕方)	3-(1)
24	裏見返し	右ページ	中段 子音が重なった場合	不正確である。 (子音)	3-(1)
25	裏見返し	子音が重なった場合	unique	誤りである。 (見出しの音と異なる語)	3-(1)
26	裏見返し	その他 2行	[ds]	誤りである。 (直前の説明と異なる音声表記)	3-(1)

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

3 枚中 1 枚目

受理番号 102-239		学校 高等学校		教科 外国語		種目 英語コミュニケーション I		学年	
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準				
	ページ	行							
1	全巻	全体	図書の内容全体	学習指導要領に示す内容に照らして、扱いが不適切である。 (内容(1)のア(イ)「文におけるイントネーション」)	2-(1)				
2	全巻	全体	図書の内容全体	学習指導要領に示す内容に照らして、扱いが不適切である。 (内容(1)のイ「句読法」)	2-(1)				
3	全巻	全体	図書の内容全体	図書の内容と「話すこと [やり取り]」、「話すこと [発表]」の領域別の目標との関係が明示されていない。 (明示的に示されていない。)	固有 1-(1)				
4	3	左2欄 16行	silent h	表記が不統一である。 (63ページ SOUNDS ENGLISH 1行では斜体)	3-(4)				
5	3	左2欄 最下行	/a:/ 他：99ページSOUNDS ENGLISH 1行, 14行, 23行	誤りである。 (発音表記)	3-(1)				
6	19	右欄	CHANGING LANGUAGE 33, 34 他：55ページ 28 指示文	学習指導要領に示す「英語コミュニケーション I」の「内容」の(1)のエの「文構造及び文法事項」について、言語活動と効果的に関連付けて取り上げていない。	固有 1-(3)				
7	23	右欄 23行	George002 他：26, 31, 33, 37, 40行	表記が不統一である。 (18行では、Georgeと表記)	3-(4)				
8	47	右欄 12行	Osprey 他：Lulu Guinness, 13行 Gucci	特定の営利企業の宣伝になるおそれがある。	2-(7)				
9	47	右下グラフ	棒グラフ 他：65ページ (2ヶ所)	学習上必要な出典が示されていない。	2-(10)				
10	63	SOU NDS EN	問32のStudent A say one word, Student B say if the word's in A or B.	生徒にとって理解し難い表現である。 (81ページ SOUNDS ENGLISH 30 "Student A says one word, then Student B says if the word's in A or B." に照らして、理解し難い。)	3-(3)				

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

受理番号 102-239		学校 高等学校		教科 外国語	種目 英語コミュニケーション I	学年
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準	
	ページ	行				
11	70	14 Critic	If so, What do you think	誤記である。	3-(2)	
12	74	左欄8 -9行	James, an American exchange student, and Lisa, an English student	スクリプトと相互に適切な関連が図られていない。 (交換留学生と受け入れ校の生徒の立場が逆)	固有 1-(4)	
13	74	右欄1 5行	People from Spain are easygoing.	表記が不統一である。 (14行ではeasy-goingと表記)	3-(4)	
14	81	SOU ND STR	two versions of the same sound	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (二つの音の違いが、単に長さだけの問題であるかのように誤解するおそれ)	3-(3)	
15	101	PRA CTICE	Where are they going to go first at the open day? 1. Josh	スクリプトと相互に適切な関連が図られていない。 (Joshの行きたい場所についての言及がない。)	固有 1-(4)	
16	101	右欄 8行	Check your answers to exercise 44	相互に矛盾している。 (exercise 44は、これから解く課題であり、指示文が活動内容と相互に矛盾)	3-(1)	
17	106	左下G lossar	do plant the land with crops to improve soil	生徒にとって理解し難い表現である。 (fallowの語義)	3-(3)	
18	113	表	人口・面積についての地域別データ 他：112ページ 都市の規模及び人口密度	学習上必要な出典、年次が示されていない。	2-(10)	
19	136	左欄3 -4行	The most common relative pronouns are: who, whose, which, that, where.	生徒にとって理解し難い表現である。 (関係代名詞の説明)	3-(3)	
20	136	左欄3 -4行	The most common relative pronouns are: who, whose, which, that, where	生徒にとって理解し難い表現である。 (関係副詞について理解し難い。)	3-(3)	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

2 枚中 1 枚目

受理番号 102-240		学校 高等学校		教科 外国語		種目 論理・表現 I		学年	
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準				
	ページ	行							
1	10 - 14		英文法の基礎知識(全体)	学習指導要領に示す「英語コミュニケーション I」の「内容」の(1)のエの「文構造及び文法事項」について、言語活動と効果的に関連付けて取り上げていない。	固有 1-(3)				
2	12	上表3 段目	動詞の意味を補う語	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (補語の働きについて誤解するおそれ)	3-(3)				
3	19	下段 2行	choose good words and phrases in your self-introduction? 他: 27ページ下段2行choose good words and phrases in the description?	英語の現代慣用によつていない。 (前置詞)	固有 2-(1)				
4	27	下段 3行	engage actively with your classmates?	相互に矛盾している。 (本Unitとの対応)	3-(1)				
5	27	脚注	Cathy was smiling at me. No wonder, you are popular.	生徒にとって理解し難い表現である。 (対話例として理解し難い。)	3-(3)				
6	28	Sou ndTips	forecastの後ろにある矢印	不正確である。 (矢印の位置)	3-(1)				
7	32	Sou ndTips	米音では語末にある…などの子音は発音されないことがあります。音の消滅は「脱落」と呼ばれます。	不正確である。 (Sound Tips1行It has a very deep sound. との対応)	3-(1)				
8	33	大問A 5番	blass band	誤りである。 (スペリング)	3-(1)				
9	44	Sou ndTips	used toが…「同化」と言います。	不正確である。 (used toの発音と「同化」との対応)	3-(1)				
10	52	Sou ndTips	前歯裏に当てて 他: Sound Tips3-4行 舌先を口の奥に引っ込めるように	不正確である。 (発音の仕方)	3-(1)				

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

受理番号 102-241		学校 高等学校		教科 外国語	種目 論理・表現 I	学年
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準	
	ページ	行				
1	全巻	全体	図書の内容全体	図書の内容と「話すこと [やり取り]」、「話すこと [発表]」、「書くこと」の領域別の目標との関係が明示されていない。	固有 1-(1)	
2	表見返 ③	6 - 7	「聞く」「話す(やりとり)」「話す(スピーチ)」「読む」「書く」の4技能5領域を使い、自分の言葉で発信する練習をすることで表現力をつけます。	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (「論理・表現」で行う学習について誤解するおそれ)	3-(3)	
			他：19行「4技能5領域のトレーニングをします。」、5ページの「論理と表現で大切なこと」(全体)、後見返⑥ページのStudy Flow(全体)			
3	6	3 - 12	英語で自分の・・・身につけるようにしましょう。	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (品詞や語順などの理解がIntroductionの学習の中心事項であると誤解するおそれ)	3-(3)	
4	7	下段	CHECK(全体) 他：8-17ページのCHECK(全体)	学習指導要領に示す「英語コミュニケーションI」の「内容」の(1)のエの「文構造及び文法事項」について、言語活動と効果的に関連付けて取り上げていない。	固有 1-(3)	
5	18	3 - 7	英語の文の基本は・・・必要があります。 他：40, 56, 88ページ3-7行の表現	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (文法の理解がZoneの学習の中心事項であると誤解するおそれ)	3-(3)	
6	19	7	会話中に出てくる・・・をマーカーでチェックしよう！ 他：23, 27, 31, 41, 45, 51, 57, 61, 65, 69, 77, 81, 89, 95, 101, 107, 115ページの同表現	生徒にとって理解し難い表現である。 (活動内容について理解し難い。)	3-(3)	
7	19	13	口の奥のほうに丸めて 他：125ページ右欄/r/の同表現、124ページ母音10段「舌をうしろにそらして」	不正確である。 (発音の仕方)	3-(1)	
8	23	13	息を出し 他：31ページ13行、69ページ11, 13行、95ページ11行、107ページ14行、115ページ14行、125ページ左欄1-8段、右欄6-8段の「息を」	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (有声音の発音の仕方について誤解するおそれ)	3-(3)	
9	36	Keep Talk	Expressions及びWords and Phrases(全体) 他：49, 76, 86ページのExpressions及びWords and Phrases(全体)	生徒にとって理解し難い表現である。 (説明がなく、活用方法が理解し難い。)	3-(3)	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

受理番号 102-241		学校 高等学校		教科 外国語	種目 論理・表現 I	学年
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準	
	ページ	行				
10	43	18 - 20	Task 3 (全体) 他：47ページ20-23行のTask 3 (全体) , 79ページ2-10行のTask 2 (全体) 及び21-26行Task 3 (全体), 97ページ 12-17行のTask 3 (全体)	学習指導要領に示す「英語コミュニケーション I」 の「内容」の(1)のエの「文構造及び文法事項」 について、言語活動と効果的に関連付けて取り上げ ていない。	固有 1-(3)	
11	51	13	やや奥の隙間から 他：77ページ12行「唇を横に引いて」 , 125ページ子音左欄7段「少し奥のす き間から」	不正確である。 (発音の仕方)	3-(1)	
12	52	E-G uide4 行	say[repeat] that again	英語の現代慣用によっていない。	固有 2-(1)	
13	57	10 - 15	Sounds (全体)	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (消える音(脱落)について)	3-(3)	
14	73		Extension (全体) 他：93, 94, 99, 100, 105, 106, 111, 114ペ ージのExtension (全体)	生徒にとって理解し難いセクションである。 (Extensionの凡例がなく、どのようなセクションな のか理解し難い。)	3-(3)	
15	73		Extension (全体) 他：94ページのExtension (全体)	学習指導要領に示す「英語コミュニケーション I」 の「内容」の(1)のエの「文構造及び文法事項」 について、言語活動と効果的に関連付けて取り上げ ていない。	固有 1-(3)	
16	73	16	考えている	相互に矛盾している。 (英文との対応)	3-(1)	
17	89	13	type 他：115ページ13行drink	不正確である。 (見出し発音表記の説明との対応)	3-(1)	
18	90	Tas k 1	(3) IPS cells, Dr. Yamanaka	不正確である。 (IPS)	3-(1)	
19	93	20	architecture	相互に矛盾している。 (日本語訳との対応)	3-(1)	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

3 枚中 3 枚目

受理番号 102-241		学校 高等学校		教科 外国語		種目 論理・表現 I		学年	
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準				
	ページ	行							
20	100	14 - 15	グループになって、・・・話し合ってみよう。 他：106ページ22行の同表現	生徒にとって理解し難い指示文である。 (どのように話し合うのか理解し難い。)	3-(3)				
21	100	16 - 20	参考のURL (4箇所) 他：105ページ6-8行(2箇所), 106ページ23-27行(4箇所), 111ページ4-6行(2箇所), 113ページ4-5行(2箇所), 114ページ6-9行(2箇所)の参考のURL	学習上の参考に供する情報を参照させるウェブページのアドレスは、発行者が管理するものでない。	2-(18)				
22	102	Task 1	東京の気象データの表 他：Task 2 季節ごとの北海道への観光客の数の表, 103ページTask 3 各地の気候の違いの表	学習上必要な出典及び年次が示されていない。	2-(10)				
23	105	写真下	Temperatue (8箇所) 他：121ページ写真下children	誤りである。 (スペリング)	3-(1)				
24	123	左欄 39行	ホストファザー	表記が不統一である。 (上段囲みホストファザーと不統一)	3-(4)				

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

3 枚中 1 枚目

受理番号 102-242		学校 高等学校		教科 外国語		種目 論理・表現 I		学年	
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準				
	ページ	行							
1	6 - 7		「論理・表現」で大切なこと（全体） 他：後見返⑥ページのStudy Flow（全体）	生徒が誤解するおそれのある表現である。 （「論理・表現」で行う学習について誤解するおそれ）	3-(3)				
2	8	3 - 13	英語で自分の・・・身につけるようにします。	生徒が誤解するおそれのある表現である。 （品詞や語順などの理解がIntroductionの学習の中心事項であると誤解するおそれ）	3-(3)				
3	9	下段	Check（全体） 他：10-19ページのCheck（全体）	学習指導要領に示す「英語コミュニケーション I」の「内容」の（1）のエの「文構造及び文法事項」について、言語活動と効果的に関連付けて取り上げていない。	固有 1-(3)				
4	20	3 - 8	英語の文の基本は・・・必要があります。 他：44, 68, 100ページ3-8行の表現	生徒が誤解するおそれのある表現である。 （文法の理解がZoneの学習の中心事項であると誤解するおそれ）	3-(3)				
5	21	27	口の奥のほうに丸めるようにして発音します。 他：93ページ28行「舌をうしろにそらして」、148ページ右欄8行「舌をうしろにそらして」、149ページ右欄3段	不正確である。 （発音の仕方）	3-(1)				
			「口の奥のほうに丸めて発音する。」						
6	22 - 23		INTERACTIONSのTASK（全体） 他：各LESSONにあるINTERACTIONSのTASK（全体）	学習指導要領に示す「英語コミュニケーション I」の「内容」の（1）のエの「文構造及び文法事項」について、言語活動と効果的に関連付けて取り上げていない。	固有 1-(3)				
7	25	29	息を 他：33ページ29行, 39ページ28行, 45ページ27行, 69ページ27行, 79ページ26, 27行, 83ページ28行, 149ページ左欄1-8段, 右欄6-8段	生徒が誤解するおそれのある表現である。 （有声音の発音の仕方について誤解するおそれ）	3-(3)				
8	29	26 - 27	what areのように/t/の音に母音が続くと、音がつながって「タ」のように発音されます。…の音と母音も、つながって発音されます。 他：29行 what are	不正確である。 （母音, what are）	3-(1)				
9	29	30	let me, good morning	不正確である。 （「/t/や/d/の音が消える」との対応）	3-(1)				

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

受理番号 102-242		学校 高等学校		教科 外国語	種目 論理・表現 I	学年
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準	
	ページ	行				
10	37	KEEP TALK	Expressions及びWords and Phrases (全体) 他: 49, 50, 59, 60, 77ページのExpressions及びWords and Phrases (全体)	生徒にとって理解し難い活動である。 (説明がなく, 活用方法が理解し難い。)	3-(3)	
11	54	10	our smartphone	英語の現代慣用によっていない。 (名詞の形)	固有 2-(1)	
12	61	18 - 19	「だれ[何]にされたのか」を示さない (示すことができない) 場合がほとんどです。	不正確である。 (断定的に過ぎる。)	3-(1)	
13	87		EXTENSION (全体) 他: 109-111ページのEXTENSION (全体)	学習指導要領に示す「英語コミュニケーション I」の「内容」の(1)のエの「文構造及び文法事項」について, 言語活動と効果的に関連付けて取り上げていない。	固有 1-(3)	
14	96	8	the little bird didn't move.	英語の現代慣用によっていない。 (相)	固有 2-(1)	
15	101	6	Is it the cousin who lives in Osaka?	英語の現代慣用によっていない。 (代名詞)	固有 2-(1)	
16	105	7 - 8	Japanese traditional houses	英語の現代慣用によっていない。 (形容詞の順番)	固有 2-(1)	
17	109	25	the hot springs resort	表記が不統一である。 (27行the hot spring resortとの対応)	3-(4)	
18	127	22 - 23	In 2002	表記が不統一である。 (19行In 1960, との対応)	3-(4)	
19	127	グラフ	Changes in Electricity Supply 他: p128表	学習上必要な年次が示されていない。	2-(10)	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

受理番号 102-243		学校 高等学校		教科 外国語		種目 論理・表現 I		学年	
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準				
	ページ	行							
1	6 - 7		「論理・表現」で大切なこと（全体） 他：後見返⑥のStudy Flow（全体）	生徒が誤解するおそれのある表現である。 （「論理・表現」で行う学習について誤解するおそれ）	3-(3)				
2	8	3 - 13	英語で自分の・・・身につけるようにします。	生徒が誤解するおそれのある表現である。 （品詞や語順などの理解がIntroductionの学習の中心事項であると誤解するおそれ）	3-(3)				
3	9	30 - 31	Check（全体） 他：10-19ページのCheck（全体）	学習指導要領に示す「英語コミュニケーション I」の「内容」の（1）のエの「文構造及び文法事項」について、言語活動と効果的に関連付けて取り上げていない。	固有 1-(3)				
4	20	3 - 8	英語の文の基本は・・・使う必要があります。 他：44, 68, 100ページ3-8行, 130ページ3-9行の表現	生徒が誤解するおそれのある表現である。 （文法の理解がZoneの学習の中心事項であると誤解するおそれ）	3-(3)				
5	21	28	口の奥のほうに丸めるようにして発音します。 他：73ページ28行「舌をうしろにそらして」、148ページ右欄8行「舌をうしろにそらして」、149ページ右欄3段「	不正確である。 （発音の仕方）	3-(1)				
			口の奥のほうに丸めて発音する。]						
6	25	31	息を 他：33ページ29行, 55ページ28行, 69ページ28, 29行, 83ページ28行, 119ページ28行, 139ページ27行, 149ページ左欄1-8段, 右欄6-8段	生徒が誤解するおそれのある表現である。 （有声音の発音の仕方について誤解するおそれ）	3-(3)				
7	30 - 31		INTERACTIONSのTASK（全体） 他：LESSON4以降にあるINTERACTIONSのTASK（全体）	学習指導要領に示す「英語コミュニケーション I」の「内容」の（1）のエの「文構造及び文法事項」について、言語活動と効果的に関連付けて取り上げていない。	固有 1-(3)				
8	37	KEEP TALK	Expressions及びWords and Phrases（全体） 他：49, 50, 59, 60, 77ページのExpressions及びWords and Phrases（全体）	生徒にとって理解し難い活動である。 （説明がなく、活用方法が理解し難い。）	3-(3)				
9	55	欄外	their thoughts has nothing to do with	誤りである。 （has）	3-(1)				

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

2 枚中 2 枚目

受理番号 102-243		学校 高等学校		教科 外国語		種目 論理・表現 I		学年	
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準				
	ページ	行							
10	87		EXTENSION (全体) 他：113ページの EXTENSION (全体)	学習指導要領に示す「英語コミュニケーション I」の「内容」の(1)のエの「文構造及び文法事項」について、言語活動と効果的に関連付けて取り上げていない。	固有 1-(3)				
11	129	グラフ	Changes in Electricity Supply	学習上必要な年次が示されていない。	2-(10)				
12	135	29	sureやshouldの「シ」は、/ʃ/の音です。	不正確である。 (発音の仕方)	3-(1)				
13	149	左欄7段	少し奥のすき間から	不正確である。 (発音の仕方)	3-(1)				

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

2 枚中 1 枚目

受理番号 102-245		学校 高等学校		教科 外国語		種目 論理・表現 I		学年	
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準				
	ページ	行							
1	全巻	全体	図書の内容全体	図書の内容と「話すこと [やり取り]」、「話すこと [発表]」、「書くこと」の領域別の目標との関係が明示されていない。	固有 1-(1)				
2	7	下段	CHECK (全体) 他：10-11ページのCHECK (全体)	学習指導要領に示す「英語コミュニケーション I」の「内容」の (1) のエの「文構造及び文法事項」について、言語活動と効果的に関連付けて取り上げていない。	固有 1-(3)				
3	15	6	「Plus-α 要約した内容について感じたこと、考えたことをペアまたはグループで話し合ってみよう。」の「Plus-α」 他：最下行及び23, 31, 39, 47, 57, 65,	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (全員が取り組まなくてもよいと誤解するおそれ)	3-(3)				
			73, 81, 89ページのSummary及びDataにある設問に付された「Plus-α」						
4	15	6	「Plus-α・・・ペアまたはグループで話し合ってみよう。」 他：最下行及び23, 31, 39, 47, 57, 65, 73, 81, 89ページのSummary及びDataにあるPlus-αの設問にある同表現	生徒にとって理解し難い問いである。 (どのように話し合うのか理解し難い。)	3-(3)				
5	17		Grammar Focus (全体) 他：25, 33, 41, 49, 59, 67, 75, 83, 91ページのGrammar Focus (全体) 及び119-140ページ「表現のための文法」(全体)	学習指導要領に示す「英語コミュニケーション I」の「内容」の (1) のエの「文構造及び文法事項」について、言語活動と効果的に関連付けて取り上げていない。	固有 1-(3)				
6	28	Sound4-5行	grilledの太字部分 (2箇所)	不正確である。 (Sound Tips 1行「強勢を置く音節 (太字の部分)」との対応)	3-(1)				
7	28	7	surprised	不正確である。 (見出し発音表記との対応)	3-(1)				
8	31	中段	表の出典 他：39ページ円グラフ Figure 1, Figure 2の出典	不正確である。 (出典)	3-(1)				
9	35	上段	Cool Japan Top 10の表 他：81ページ中段グラフ, 89ページ中段グラフ	学習上必要な年次が示されていない。	2-(11)				

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

1 枚中 1 枚目

受理番号 102-246		学校 高等学校		教科 外国語		種目 論理・表現 I		学年	
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準				
	ページ	行							
1	9	Words	school buildingの発音表記 他：43ページThe Starry Night, 57ページpork cutletの発音表記	不正確である。 (強勢表記)	3-(1)				
2	9	Words	newの発音表記 他：15ページexchange student, 37ページcostumeの発音表記	不正確である。 (英音表記)	3-(1)				
3	10	上段	「Useful Expressions」の指示文「便利な表現を繰り返し言って、覚えよう。」及び表のチェックボックス 他：各パートの「Useful Expressions」にある同表現	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (学習内容の定着を図るための活動方法について誤解するおそれ)	3-(3)				
4	62	囲み1行	sunny side up eggs 他：63ページ22行	英語の現代慣用によっていない。 (sunny side up)	固有2-(1)				
5	65	Words	statueの発音表記 他：85ページBurj Khalifa, 135ページequalの発音表記	不正確である。 (母音表記)	3-(1)				
6	66	上段表10段	Kotuku-in	誤記である。 (ローマ字表記)	3-(2)				
7	126	Q3	What's Mai's talk about?	生徒にとって理解し難い設問である。 (絵を見て答えられない。)	3-(3)				
8	135	Words	SDGsの発音表記	不正確である。 (子音表記)	3-(1)				
9	140	図	LifeStraw (2箇所) 他：141ページ(3箇所), 142ページ(1箇所)	特定の商品の宣伝になるおそれがある。 (LifeStraw)	2-(7)				
10	表3	最下行	All the Best,	誤記である。 (Bestの大文字)	3-(2)				

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

1 枚中 1 枚目

受理番号 102-247		学校 高等学校	教科 外国語	種目 論理・表現 I	学年
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準
	ページ	行			
1	13	中囲み c.	chorus club 他：14ページ中囲み5行，110ページ左 段31行のchorus club	英語の現代慣用によっていない。 (chorus club)	固有 2-(1)
2	26	1	ラインメッセージ 他：27ページのラインメッセージ，ラ イン（2箇所），欄外のLINE， Facebook	特定の営利企業の宣伝になるおそれがある。	2-(7)
3	29		Gトレ-1（全体） 他：49，69，89，107ページのGトレ（ 全体）	学習指導要領に示す「英語コミュニケーションI」 の「内容」の（1）のエの「文構造及び文法事項」 について，言語活動と効果的に関連付けて取り上げ ていない。	固有 1-(3)
4	75	表3段	The Sowerの絵	相互に矛盾している。 (作品名と相互に矛盾)	3-(1)
5	101	Tip s 2行	an example of Japanese culture 他：3行 when	不正確である。 (区切り線と赤丸)	3-(1)
6	104	2	stand	英語の現代慣用によっていない。	固有 2-(1)

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

2 枚中 1 枚目

受理番号 102-248		学校 高等学校		教科 外国語		種目 論理・表現 I		学年	
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準				
	ページ	行							
1	4 - 7		はじめに (全体)	学習指導要領に示す「英語コミュニケーション I」の「内容」の (1) のエの「文構造及び文法事項」について、言語活動と効果的に関連付けて取り上げていない。	固有 1-(3)				
2	10	8	That's great—I'm a member!	英語の現代慣用によっていない。 (ダッシュの用法)	固有 2-(1)				
3	11	21	Check list (全体) 他：各レッスンにあるCheck list (全体)	生徒にとって理解し難い表現である。 (評価方法が理解し難い。)	3-(3)				
4	60	5 - 6	My slogan ... is KOBC, and it stands for ... 他：61ページ表①質問文, ②質問文及び解答文, 18行and it stands for ...	英語の現代慣用によっていない。 (sloganが使われている文脈)	固有 2-(1)				
5	73	上段	表 (全体)	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (72ページ上囲みとの対応)	3-(3)				
6	78	6 - 7	the Nobel Prize in Medicine 他：23行, 114ページ5⑨の同表現及びノーベル医学賞	不正確である。 (名称)	3-(1)				
7	88	表	Overseas destinations Minami High School students would like to visitの表及び127ページ6行外務省ホームページ 各国の基礎データ, 7行総務省ホームページ 人口推計	学習上必要な年次が示されていない。	2-(10)				
			他：90ページThe average temperature and rainfallのグラフ及び127ページ9行気象庁ホームページ 世界の天候 世界の地点別平均値						
8	99 - 100		パラグラフ・ライティングの基本 (全体) 他：101ページディベートの進め方 (全体), 102ページディスカッションの進め方 (全体)	主たる記述と適切に関連付けて扱われていない。	2-(13)				
9	100		上囲み (全体), Quiz1 (全体), Quiz2の2	生徒が誤解するおそれのある作例及び設問である。 (パラグラフの構成や展開の仕方などについて誤解するおそれ)	3-(3)				

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

2 枚中 1 枚目

受理番号 102-249		学校 高等学校		教科 外国語		種目 論理・表現 I		学年	
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準				
	ページ	行							
1	3	6	adroad	誤りである。 (スペリング)	3-(1)				
2	4 - 7		はじめに(全体)	学習指導要領に示す「英語コミュニケーション I」の「内容」の(1)のエの「文構造及び文法事項」について、言語活動と効果的に関連付けて取り上げていない。	固有 1-(3)				
3	10	7	That's great—I'm a member!	英語の現代慣用によっていない。 (ダッシュの用法)	固有 2-(1)				
4	11	22 - 23	Check list(全体) 他：各レッスンにあるCheck list(全体)	生徒にとって理解し難い表現である。 (評価方法が理解し難い。)	3-(3)				
5	14	最下段 2行	程度で 自己紹介文	誤植である。 (不要なスペース)	3-(2)				
6	37	11	ate ice cream too much	英語の現代慣用によっていない。 (too muchの位置)	固有 2-(1)				
7	60	7 - 8	My slogan is KOBC, and it stands for… 他：61ページ表①質問文及び解答文、16-17行My slogan…and it stands for…	英語の現代慣用によっていない。 (sloganが使われている文脈)	固有 2-(1)				
8	78	6	the Nobel Prize in Medicine 他：22行、114ページ5⑨の同表現及びノーベル医学賞	不正確である。 (名称)	3-(1)				
9	88	表	Overseas destinations Minami High School students would like to visitの表及び127ページ6行外務省ホームページ各国の基礎データ、7行総務省ホームページ人口推計	学習上必要な年次が示されていない。	2-(10)				
			他：90ページThe average temperature and rainfallのグラフ及び127ページ9行気象庁ホームページ世界の天候世界の地点別平均値						

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

2 枚中 2 枚目

受理番号 102-249		学校 高等学校		教科 外国語		種目 論理・表現 I		学年	
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準				
	ページ	行							
10	89	25	Which foreign language except English	英語の現代慣用によっていない。 (前置詞)	固有 2-(1)				
11	99 - 100		パラグラフ・ライティングの基本(全体) 他：101ページ ディベートの進め方(全体), 102ページ ディスカッションの進め方(全体)	主たる記述と適切に関連付けて扱われていない。	2-(13)				
12	100		上囲み(全体), Quiz1(全体), Quiz2の2	生徒が誤解するおそれのある作例及び設問である。 (パラグラフの構成や展開の仕方などについて誤解するおそれ)	3-(3)				
13	103	上段	Expressions Plus1番 他：104ページ1番, 108ページ2番, 110ページ4番, 114ページ4番, 115ページ2番, 117ページ4番	主たる記述と適切に関連付けて扱われていない。	2-(13)				
14	103	上段	Expressions Plus1番 他：104ページ1番, 108ページ2番, 110ページ4番, 114ページ4番, 115ページ2番, 117ページ4番	学習指導要領に示す「英語コミュニケーション I」の「内容」の(1)のエの「文構造及び文法事項」について、言語活動と効果的に関連付けて取り上げていない。	固有 1-(3)				
15	118 - 126		Useful Expressions(全体)	主たる記述と適切に関連付けて扱われていない。	2-(13)				

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

1 枚中 1 枚目

受理番号 102-250		学校 高等学校		教科 外国語		種目 論理・表現 I		学年	
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準				
	ページ	行							
1	15		Think and Express! (全体) 他：各LessonのThink and Express! (全体)	学習指導要領に示す「英語コミュニケーション I」の「内容」の(1)のエの「文構造及び文法事項」について、言語活動と効果的に関連付けて取り上げていない。	固有 1-(3)				
2	15		Interact and Produce (全体) 他：各LessonのInteract and Produce	学習上の支障を生ずるおそれがある。 (①, ②を踏まえただけでは, ③の活動は行えない。)	2-(1)				
3	55	上中図	A(2)右の人物の絵	生徒が誤解するおそれのある図である。 (ジェスチャー)	3-(3)				
4	67 - 72		Words & Phrases (全体)	生徒にとって理解し難い表現である。 (説明が不足しており, 活用方法が理解し難い。)	3-(3)				
5	75	9	orchestra club	英語の現代慣用によっていない。 (orchestra club)	固有 2-(1)				
6	122	1	*各レッスンの主要例文のポイントを書いて覚えよう.	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (学習内容の定着を図るための活動方法について誤解のおそれ)	3-(3)				

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

1 枚中 1 枚目

受理番号 102-251		学校 高等学校		教科 外国語		種目 論理・表現 I		学年	
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準				
	ページ	行							
1	6	Sounds	come, nameに付された丸印 他：12ページSoundsのthis, time, 37ページgreat, front, thrilling, 41ページdo, 55ページbuying, dog, 79ページonly, tourists, but by	不正確である。 (丸印)	3-(1)				
			people all over Japan now, 85ページnon-burnableに付された丸印						
2	8	Sounds	likeに付された矢印 他：45ページSoundsのnatureに付された矢印	不正確である。 (矢印の位置)	3-(1)				
3	20	大問 1. 囲み	1行 brass band 他：大問3. 囲み最下行 chorus	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (clubと共に用いられると誤解するおそれ)	3-(3)				
4	22	S&W Output	大問4. 他：26, 30, 38, 42, 46, 52, 56, 60ページのSpeaking and Writing Output大問4. 及び68, 74, 80, 86ページの大問3.	生徒にとって理解し難い問いである。 (どのようにプレゼンテーションするのか理解し難い。)	3-(3)				
5	22	S&W Output	大問5. 他：26, 30ページのSpeaking and Writing Output大問5.	生徒にとって理解し難い問いである。 (どのように書くのか理解し難い。)	3-(3)				
6	22	Give It	大問2. 他：30ページのGive It a Shot大問2.	生徒にとって理解し難い問いである。 (どのように書くのか理解し難い。)	3-(3)				
7	23		GRAMMAR COMPASSの練習問題 (全体) 他：27, 47, 76, 82, 88ページのGRAMMAR COMPASSの練習問題 (全体)	学習指導要領に示す「英語コミュニケーションI」の「内容」の(1)のエの「文構造及び文法事項」について、言語活動と効果的に関連付けて取り上げていない。	固有 1-(3)				

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

2 枚中 1 枚目

受理番号 102-252		学校 高等学校		教科 外国語		種目 論理・表現 I		学年	
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準				
	ページ	行							
1	全巻	全体	図書の内容全体	図書の内容「話すこと [やり取り]」、「話すこと [発表]」、「書くこと」の領域別の目標との関係が明示されていない。	固有 1-(1)				
2	8		Example Bank及び9ページTry it out 大問1, 2, 3, Use it 他：20ページ及び21ページ, 36ページ 及び37ページ, 44ページ及び45ページ , 58ページ及び59ページ, 64ページ及	相互の関連が適切でない。 (5ページTry it out及びUse itの凡例に照らして、相互の関連が適切に図られていない。)	2-(12)				
			び65ページ, 68ページ及び69ページ, 78ページ及び79ページ, 80ページ及び 81ページ, 88ページ及び89ページ, 96 ページ及び97ページ, 98ページ及び99 ページ, 100ページ及び101ページ,						
			108ページ及び109ページのExample BankとTry it out大問1, 2, 3, Use it						
3	9	Com pare	Discuss the difference(s) between the sentences. 他：11, 19, 21, 27, 29, 37, 39, 45, 47, 49, 57, 59, 65, 67, 69, 79, 81, 87, 89, 97, 99, 101, 107, 109, 117, 119ページの同表現	学習指導要領に示す「英語コミュニケーション I」 の「内容」の(1)のエの「文構造及び文法事項」 について、言語活動と効果的に関連付けて取り上げ ていない。	固有 1-(3)				
4	9	Try it ou	大問2 Share your answers with your partner. 他：11, 19, 21, 27, 29, 37, 39, 45, 47, 49, 57, 59, 65, 67, 69, 79, 81, 87, 89, 97, 99, 101, 107, 109, 117, 119ページの同表現	生徒にとって理解し難い指示文である。 (指示文の意図を理解し難い。)	3-(3)				
			及び16, 53ページPractice「自分とパ ートナーの考え方を比べ」						
5	9	大問2 の2.	brass band club	英語の現代慣用によっていない。 (brass band club)	固有 2-(1)				
6	12	STE P2	7. Who do you respect? 他：STEP3最下行He/She respects () .	生徒にとって理解し難い表現である。 (指示文との対応)	3-(3)				
7	13	下段	Word Network (全体) 他：各LessonのWord Network (全体)	生徒にとって理解し難い表現である。 (説明が不足しており、理解し難い。)	3-(3)				

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

2 枚中 2 枚目

受理番号 102-252		学校 高等学校		教科 外国語		種目 論理・表現 I		学年	
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準				
	ページ	行							
8	14	Add itiona	大問2 (全体)	生徒が誤解するおそれのある設問である。 (付加疑問文の用法について誤解するおそれ)	3-(3)				
9	16		Practice (全体)	学習指導要領に示す「英語コミュニケーション I」 の「内容」の(1)のエの「文構造及び文法事項」 について、言語活動と効果的に関連付けて取り上げ ていない。	固有 1-(3)				
10	29	上段図	there is no eggs. (2箇所)	英語の現代慣用によっていない。 (動詞の形)	固有 2-(1)				
11	32	大問2	ex. のA, B 他 : 42, 62, 72, 84, 104ページの同表現	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (空所A, Bと誤解するおそれ)	3-(3)				
12	33	中段	Practiceの下線部のピリオド (3箇所)	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (文末の処理について誤解するおそれ)	3-(3)				
13	37	大問2 の5.	Acturally	誤りである。 (スペリング)	3-(1)				
14	91	Word Netw	SNS (2箇所)	英語の現代慣用によっていない。 (SNS)	固有 2-(1)				
15	146 - 147		付表1, 2	主たる記述と適切に関連付けて扱われていない。	2-(13)				

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

2 枚中 1 枚目

受理番号 102-253		学校 高等学校		教科 外国語		種目 論理・表現 I		学年	
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準				
	ページ	行							
1	全巻	全体	図書の内容全体	図書の内容と「話すこと [やり取り]」、「話すこと [発表]」、「書くこと」の領域別の目標との関係が明示されていない。	固有 1-(1)				
2	8		Example Bank及び9ページTry it out! 大問1, 2, 3, Use it 他：20ページ及び21ページ, 36ページ及び37ページ, 44ページ及び45ページ, 58ページ及び59ページ, 64ページ及び65ページ, 68ページ及び69ページ, 78ページ及び79ページ, 80ページ及び81ページ, 88ページ及び89ページ, 96ページ及び97ページ, 98ページ及び99ページ, 100ページ及び101ページの	相互の関連が適切でない。 (5ページTry it out!及びUse itの凡例に照らして, 相互の関連が適切に図られていない。)	2-(12)				
			Example BankとTry it out!大問1, 2, 3, Use it						
3	9	Try it ou	大問1, 2の「自分とパートナーの考え方を比べてみよう。」 他：11, 16, 19, 21, 27, 29, 37, 39, 45, 47, 49, 53, 57, 59, 65, 67, 69, 79, 81, 87, 89, 97, 99,	生徒にとって理解し難い指示文である。 (指示文の意図を理解し難い。)	3-(3)				
			101, 107, 109, 117, 119ページの同表現並びに「・・・パートナーと考えてみましょう。」, 「・・・パートナーと比べてみよう。」, 「...考え方を比べてみましょう。」						
4	9	大問1 の2	brass band club	英語の現代慣用によっていない。 (brass band club)	固有 2-(1)				
5	13	下段	Word Network (全体) 他：各LessonのWord Network (全体)	生徒にとって理解し難い表現である。 (説明が不足しており, 理解し難い。)	3-(3)				
6	16		Practice (全体)	学習指導要領に示す「英語コミュニケーション I」の「内容」の(1)のエの「文構造及び文法事項」について, 言語活動と効果的に関連付けて取り上げていない。	固有 1-(3)				
7	19	上囲み 7	Let's buy TV.	英語の現代慣用によっていない。 (可算名詞)	固有 2-(1)				

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

2 枚中 2 枚目

受理番号 102-253		学校 高等学校		教科 外国語		種目 論理・表現 I		学年	
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準				
	ページ	行							
8	25	タイトル	this weekend	脱字である。 (ピリオド)	3-(2)				
9	25	下左カレンダー	FRY	不正確である。 (曜日の表記)	3-(1)				
10	32	大問2	ex. のA, B 他: 42, 62, 72, 84, 104ページの同表現	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (空所A, Bと誤解するおそれ)	3-(3)				
11	46	右13-14	良いスポーツ科学のあるイングランドの大学	相互に矛盾している。 (英文との対応)	3-(1)				
12	53	下囲み2	them	生徒にとって理解し難い表現である。 (themが何を指すか理解し難い。)	3-(3)				
13	91	Word Netw	SNS (2箇所)	英語の現代慣用によっていない。 (SNS)	固有2-(1)				
14	97	上囲み4	propery	誤りである。 (スペリング)	3-(1)				
15	99	25	the Japan National soccer team	誤記である。 (語頭の小文字)	3-(2)				
16	138-139		付表1, 2	主たる記述と適切に関連付けて扱われていない。	2-(13)				

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

3 枚中 1 枚目

受理番号 102-254		学校 高等学校		教科 外国語		種目 論理・表現 I		学年	
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準				
	ページ	行							
1	全巻	全体	図書の内容全体	学習指導要領に示す内容に照らして、扱いが不適切である。 (内容(3)のウ(イ)の「…社会的な話題に関して…意見や主張などを適切な理由や根拠とともに段落を書いて伝える活動。」)	2-(1)				
2	5 - 11		TRY! (5箇所)	学習指導要領に示す「英語コミュニケーションI」の「内容」の(1)のエの「文構造及び文法事項」について、言語活動と効果的に関連付けて取り上げていない。	固有 1-(3)				
3	13		PERFORM (全体) 及び3ページ囲み3行の説明 他: 15, 19, 21, 25, 27, 31, 33, 37, 39, 41, 47, 49, 53, 55, 59, 63, 65, 69, 71ページのPERFORM及び77~	学習指導要領に示す「英語コミュニケーションI」の「内容」の(1)のエの「文構造及び文法事項」について、言語活動と効果的に関連付けて取り上げていない。	固有 1-(3)				
			87ページ文法のまとめのEXERCISES						
4	22	下囲み	ファーストフード店やカフェで注文するときによく使われる表現 他: 56ページ買い物でよく使われる表現	生徒にとって理解し難い表現である。 (説明がなく、活用方法が理解し難い。)	3-(3)				
5	23	Acr oss 3.	Did you () interesting books	英語の現代慣用によっていない。 (目的語の形)	固有 2-(1)				
6	39	11	in a day	英語の現代慣用によっていない。	固有 2-(1)				
7	42	3	Is that Mt. Fuji? 他: 43ページSTEP3の2つ目の吹き出し that	英語の現代慣用によっていない。 (代名詞)	固有 2-(1)				
8	44	7	It's near here.	英語の現代慣用によっていない。 (6行 a convenience storeとの対応)	固有 2-(1)				
9	45	3番の Point	リラックスして発音しよう。	生徒にとって理解し難い表現である。 (リラックスして)	3-(3)				

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

受理番号 102-254		学校 高等学校		教科 外国語		種目 論理・表現 I		学年	
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準				
	ページ	行							
10	48	写真	段ボールトイレ	相互に矛盾している。 (49ページ吹き出し1行 I made a toilet out of cardboard との対応)	3-(1)				
11	56	4	Do you have any recommendation?	英語の現代慣用によっていない。 (名詞の形)	固有 2-(1)				
12	58	Check ①	Pandas are the animals	英語の現代慣用によっていない。 (冠詞)	固有 2-(1)				
13	69	大問2 の3	オーストラリアに住んでいれば、毎日南十字星を見ることができるでしょうに。	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (オーストラリアのどこでも毎日南十字星を見られると誤解するおそれ)	3-(3)				
14	76 - 87		文法のまとめ (全体)	主たる記述と適切に関連付けて扱われていない。	2-(13)				
15	76 - 87		文法のまとめ (全体)	生徒にとって理解し難い教材である。 (説明がなく、教材の活用方法が理解し難い。)	3-(3)				
16	85	2	sat at the bench	英語の現代慣用によっていない。 (前置詞)	固有 2-(1)				
17	88	中欄 18行	orchestra club	英語の現代慣用によっていない。	固有 2-(1)				
18	88 - 91		Useful Words & Expressions (全体)	主たる記述と適切に関連付けて扱われていない。	2-(13)				
19	88 - 91		Useful Words & Expressions (全体)	生徒にとって理解し難い教材である。 (説明がなく、教材の活用方法が理解し難い。)	3-(3)				

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

受理番号 102-255		学校 高等学校		教科 外国語	種目 論理・表現 I	学年
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準	
	ページ	行				
1	2	Lesson11	Going to Factory Tour! 他：88ページ上段タイトル, 91, 93ページ柱の同表現	英語の現代慣用によっていない。	固有 2-(1)	
2	6	辞書ページ7行	He shone his shoes	英語の現代慣用によっていない。 (動詞の形)	固有 2-(1)	
3	6	下段右写真	電子辞書の画面にある書籍の写真	特定の商品の宣伝になるおそれがある。 (書籍名及び書籍の写真)	2-(7)	
4	8 - 13		Let's Try (6箇所)	学習指導要領に示す「英語コミュニケーションI」の「内容」の(1)のエの「文構造及び文法事項」について、言語活動と効果的に関連付けて取り上げていない。	固有 1-(3)	
5	15	中段右	Q & A (全体) 他：21, 29, 37, 45, 53, 59, 67, 75, 83, 89, 97, 105, 111ページのQ & A (全体)	学習上の支障を生ずるおそれがある。 (Model Dialogの日本語訳だけを読んで回答するおそれ)	2-(1)	
6	17		Exercises (全体) 他：23, 31, 39, 47, 55, 61, 69, 77, 85, 91, 99, 107, 113ページのExercises (全体) 及び118-129ページ「文法のまとめ」の練習問題 (全体)	学習指導要領に示す「英語コミュニケーションI」の「内容」の(1)のエの「文構造及び文法事項」について、言語活動と効果的に関連付けて取り上げていない。	固有 1-(3)	
7	21	Sound 5行	(a)～(e)の丸印	不正確である。 (丸印)	3-(1)	
8	25	Step3の3行	saturday	誤記である。 (語頭の小文字)	3-(2)	
9	29	Sound 4行	Of course, you can. とWhat temples did you visit?に付された矢印 他：53ページSound Corner4-5行の英文に付された矢印 (2箇所)	不正確である。 (矢印の位置)	3-(1)	
10	34	下囲み	ファーストフード店やカフェで注文するときによく使われる表現 他：72ページ買い物でよく使われる表現	生徒にとって理解し難い表現である。 (説明がなく、活用方法が理解し難い。)	3-(3)	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

4 枚中 2 枚目

受理番号 102-255		学校 高等学校	教科 外国語	種目 論理・表現 I	学年
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準
	ページ	行			
11	35	Acr ossの3 番	Did you () interesting books this summer?	英語の現代慣用によっていない。 (目的語の形)	固有 2-(1)
12	36	上段左 写真	ONE PIECEのマンガの写真	特定の商品の宣伝になるおそれがある。 (JUMP COMICS及びアイコン)	2-(7)
13	37	Bas ic Act	3. that books	不正確である。 (指示代名詞の形)	3-(1)
14	41	STE P3	STEP 3 (全体)	生徒が誤解するおそれのある設問及び作例である。 (紹介文の構成や展開の仕方などについて誤解する おそれ)	3-(3)
15	41	Fur ther A	2行 I have cooked rice omelet 他：78ページSTEP 2の8行make wind	英語の現代慣用によっていない。 (目的語の形)	固有 2-(1)
16	49	STE P3	4-5行 Octopus, flour, green onion are used	表記が不統一である。 (45ページLogic & Function4行 A, B, C, and Dと 接続詞が統一)	3-(4)
17	51	3番 Point	リラックスして発音しよう。	生徒にとって理解し難い表現である。 (リラックスして)	3-(3)
18	55	大問3 の4.	Naoko speaks (do / English / I / than / well).	誤りである。 (well)	3-(1)
19	59	Sou nd 2行	[1]の斜体字	誤記である。	3-(2)
20	59	Sou nd 2行	息を・・・漏らしながら 他：89ページSound Corner2,4行「息 をもらしながら」, 138ページ下段[1] 「息を・・・漏らしながら」	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (有声音の発音の仕方について誤解するおそれ)	3-(3)

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

4 枚中 3 枚目

受理番号 102-255		学校 高等学校	教科 外国語	種目 論理・表現 I	学年
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準
	ページ	行			
21	59	Sound 4行	[r]との違いに注意して	生徒にとって理解し難い表現である。 ([r])	3-(3)
22	75	下段	Basic Activity (全体) 他：83ページのBasic Activity (全体)	生徒にとって理解し難い設問である。 (Model Dialogとの関連について理解し難い。)	3-(3)
23	86	STEP1③	the square 他：STEP 1⑤, 87ページ中段例文2, 8行, 87ページUseful Expressions2段の同表現	相互に矛盾している。 (イラストとの対応)	3-(1)
24	93	Further A	3行 in emergency	英語の現代慣用によっていない。 (冠詞がない。)	固有 2-(1)
25	102	左囲み 4行	Today's English class	英語の現代慣用によっていない。 (前置詞がない。)	固有 2-(1)
26	111	Sound 3行	行頭のコンマ	誤植である。 (コンマの位置)	3-(2)
27	114	STEP2	8-9行 seeing the painting.	表記が不統一である。 (11行paintingsと不統一)	3-(4)
28	118 - 129		文法のまとめ (全体)	主たる記述と適切に関連付けて扱われていない。	2-(13)
29	118 - 129		文法のまとめ (全体)	生徒にとって理解し難い教材である。 (説明がなく, 活用方法が理解し難い。)	3-(3)
30	130 - 135		Useful Words & Phrases (全体)	主たる記述と適切に関連付けて扱われていない。	2-(13)

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

4 枚中 4 枚目

受理番号 102-255		学校 高等学校	教科 外国語	種目 論理・表現 I	学年
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準
	ページ	行			
31	131	中欄 26行	orchestra club	英語の現代慣用によっていない。	固有 2-(1)
32	138	上段 [h]	日本語の「ハ行」と同じ音です。 他：中段[b] 日本語の「バ行」と同じ 発音です。	生徒にとって理解し難い表現である。 (特定の子音の説明として理解し難い。)	3-(3)
33	138	中段 [v]	息を吐き出す際に「ウー」と言います 。	生徒にとって理解し難い表現である。 ([v]の発音の仕方として理解し難い。)	3-(3)
34	138	下段 図	[r]の図	生徒が誤解するおそれのある図である。 (舌の位置)	3-(3)
35	139	中囲み	4. car	不正確である。 (見出し発音表記との対応)	3-(1)
36	142	①7段	cutey	誤りである。 (比較級ではない。)	3-(1)

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

受理番号 102-257		学校 高等学校		教科 外国語		種目 論理・表現 I		学年	
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準				
	ページ	行							
1	全巻	全体	図書の内容全体	図書の内容と「話すこと [やり取り]」、「話すこと [発表]」、「書くこと」の領域別の目標との関係が明示されていない。	固有 1-(1)				
2	全巻	全体	図書の内容全体	学習指導要領に示す内容に照らして、扱いが不適切である。 (内容(3)のア(イ)の「…社会的な話題に関して…意見や主張などを適切な理由や根拠とともに伝え合うディベートやディスカッションをする活動。」)	2-(1)				
3	全巻	全体	図書の内容全体	学習指導要領に示す内容に照らして、扱いが不適切である。 (内容(3)のイ(イ)の「…社会的な話題に関して…意見や主張などを適切な理由や根拠とともに伝える短いスピーチやプレゼンテーションをする活動。」)	2-(1)				
)					
4	vii	3 - 4	ネイティブスピーカー (英語を母国語とする者)	誤りである。 (母国語)	3-(1)				
5	viii	18	ふりがな	不正確である。 (ふりがな)	3-(1)				
6	ix	4 - 5	学習指導要領が示している英語コミュニケーション I で必須の文法事項が、本書で網羅されています。	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (英語コミュニケーション I の文法事項が「論理・表現」でも全て網羅されていると誤解するおそれ)	3-(3)				
7	x	1 - 14	Conversations (全体)	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (「論理・表現 I」における「話すこと [やりとり]」の言語活動について誤解するおそれ)	3-(3)				
8	5	25	your best friend funny in junior high school	英語の現代慣用によっていない。 (形容詞の位置)	固有 2-(1)				
9	5	25	school ?	誤植である。 (スペース)	3-(2)				

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

4 枚中 2 枚目

受理番号 102-257		学校 高等学校		教科 外国語		種目 論理・表現 I		学年	
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準				
	ページ	行							
10	6	12 - 13	I (worry)	英語の現代慣用によっていない。 (動詞)	固有 2-(1)				
11	10	5	I may get steak, or I may get pasta.	英語の現代慣用によっていない。 (動詞)	固有 2-(1)				
12	11	脚注	science fiction movies (sci-fi)	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (sci-fiがscience fiction moviesの同義語と誤解するおそれ)	3-(3)				
13	14	14 - 15	shy, kind	表記が不統一である。 (語頭の小文字)	3-(4)				
14	17	表	Once or twice	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (他の副詞と対比できる表現であると誤解するおそれ)	3-(3)				
15	23	6	had better 他：7行had better not, 24ページ3, 4行'd better, 9行'd better not, 25 ページ17行had better	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (had betterの使い方について誤解するおそれ)	3-(3)				
16	23		大問1 (全体)	生徒にとって理解し難い活動である。 (活動の趣旨を理解し難い。)	3-(3)				
17	31	下段	2つの囲み	生徒にとって理解し難い表現である。 (大問1の指示文との対応)	3-(3)				
18	34	4 - 5	左側の1-8と同じ意味の質問文を右側のA-Hの中から探し、線を引いて組み合わせましょう。	生徒にとって理解し難い活動である。 (活動の趣旨を理解し難い。)	3-(3)				
19	35	16 - 17	I (don't) have much money	英語の現代慣用によっていない。 (文脈との対応)	固有 2-(1)				

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

受理番号 102-257		学校 高等学校		教科 外国語	種目 論理・表現 I	学年
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準	
	ページ	行				
20	55	脚注	save it	生徒にとって理解し難い表現ある。 (日本語との対応)	3-(3)	
21	55	脚注	「運動」 他：85ページ脚注「創造的」、104ページ脚注「外」、108ページ脚注「寝坊」	不正確である。 (単語の品詞に対応していない。)	3-(1)	
22	72	7	He was the one who fixed the doors. 他：同ページ9行、11～19行、77ページ4行、7行、12～20行、78ページ4～17行、80ページ3、17行	英語の現代慣用によっていない。 (質問の文との対応)	固有 2-(1)	
23	73	15	is a country which has many guns	生徒にとって理解し難い質問である。	3-(3)	
24	79	2	日本の祝日	誤りである。 (March 3rd, April 29th to May 5th, November 15thとの対応)	3-(1)	
25	81	脚注	オーストラリア	誤りである。 (Austriaとの対応)	3-(1)	
26	88	2	青の会話文	生徒にとって理解し難い表現である。 (該当の会話文が存在しない。)	3-(3)	
27	89	6 - 8	スピーチの…last Sunday	不正確である。 (1行「先週の土日(あるいは昨日)」との対応)	3-(1)	
28	91	2	2つのもの比較する	脱字である。	3-(2)	
29	92	脚注	the most popular -	表記が不統一である。 (the most famous ~ -との対応)	3-(4)	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

4 枚中 4 枚目

受理番号 102-257		学校 高等学校	教科 外国語	種目 論理・表現 I	学年
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準
	ページ	行			
30	104	脚注	ダイエット	不正確である。	3-(1)
31	109 - 111		歌詞の下線	不正確である。 (「下線の部分が強く発音するところ」に照らして)	3-(1)
32	110	11	ルーツ ルーツ ルーツ	不正確である。 (rootとの対応)	3-(1)
33	115	中欄	11, 13の母音	誤りである。 (短母音ではない。)	3-(1)
34	115	左欄	2, 3, 4, 6, 7 の母音	誤りである。 (二重母音)	3-(1)
35	115	囲み	舌を丸めます (4箇所)	不正確である。	3-(1)
36	116	囲み	素早く後ろに戻します	不正確である。	3-(1)
37	116	囲み	唇の中心部に集中するようにします	不正確である。	3-(1)

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

2 枚中 1 枚目

受理番号 102-258		学校 高等学校		教科 外国語		種目 論理・表現 I		学年	
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準				
	ページ	行							
1	8	全体	英語の語順 他：9ページ 修飾と2つのルール	学習指導要領に示す「英語コミュニケーション I」の「内容」の(1)のエの「文構造及び文法事項」について、言語活動と効果的に関連付けて取り上げていない。	固有 1-(3)				
2	8	下段	説明型の図 説明語句 C など 他：同ページ目的語説明型の図、16ページFact Eの図及びFact Hの図にある同表現	生徒にとって理解し難い表現である。 (補語以外に該当するものについて理解し難い。)	3-(3)				
3	9	13	時を指定してから出来事を述べる…時を表す表現	生徒にとって理解し難い表現である。	3-(3)				
4	28		GRAMMAR Fact D 他：38ページFact C, 56ページFact E, 58ページFact F, 88ページFact E, 116ページFact D, 144ページFact BとD, 145ページFact F, 146ページFact	学習指導要領に示す「英語コミュニケーション I」の「内容」の(1)のエの「文構造及び文法事項」について、言語活動と効果的に関連付けて取り上げていない。	固有 1-(3)				
			J, 156ページFact D						
5	86	1	to不定詞 (to + 動詞の原形) は動詞を中心とするフレーズがひとまとまりのパッケージとなった形です。	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (不定詞の定義について誤解のおそれ)	3-(3)				
6	127	表	2017年衆議院選挙年代別投票率	学習上必要な出典が示されていない。	2-(10)				
7	136	Listen Ag	Why did yo do that?	誤りである。 (スペリング)	3-(1)				
8	144	1	関係詞は名詞(先行詞)を後続する節(後続節)で修飾するときに使われま す。	不正確である。 (Fact I, Fact Jとの対応)	3-(1)				
9	146	Fact K	if / whether節	相互に矛盾している。 (144ページタイトル「GRAMMAR関係詞」との対応)	3-(1)				

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

